

令和5年度  
事業報告及び決算書



公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団

# 目 次

## 事業報告

1 事業概要	1
2 事業区分	1
3 事業区分別事業報告	2
公益目的事業1	2
公益目的事業2	21
公益目的事業3	47
収益事業	52
4 文化・スポーツ拠点施設等の管理運営	53
5 庶務・管理	61

## 財務諸表

貸借対照表	67
正味財産増減計算書	68
正味財産増減計算書内訳表	70

財務諸表に対する注記	73
------------	----

附属明細書	75
-------	----

財産目録	76
------	----

監査報告書	79
-------	----

## 1 事業概要

令和5年度は、5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行したことにより、各所で本格的にイベントなどの社会経済活動が再開された一年となりました。

財団では、各施設で行っていた利用制限を撤廃するとともに、管理施設での活性化事業や文化・スポーツ振興事業を本格的に再開し、多数の市民が日常的に文化・スポーツ活動を楽しむことができる機会の提供に努めました。

事業別では、文化振興事業にて計48事業を開催しました。「第28回市民ミュージカル」では、客席数をコロナ禍前の状態に戻し集客を行ったほか、愛媛大学との連携事業である「親子で楽しむふれあいコンサート」を開催し、親子で演奏の楽しさを体験する機会を設けるなど、文化振興事業全体で延べ40,523人の参加を得ることができました。

スポーツ振興事業では、財団では初の取り組みとしてクラウドファンディングを活用した「石山大輝選手応援プロジェクト」を実施し、郷土出身のパラアスリートを応援することで、障がい者スポーツにスポットを当てた取り組みを行いました。また、新規事業の「スポーツふれあいデー事業」では、加盟団体との協力により体験型のイベントを開催し、普段経験することがない競技に楽しく参加していただくことができ、スポーツ振興事業では計75事業、延べ49,018人の参加が得られました。

埋蔵文化財保存・普及啓発事業では、計13事業を開催し、多くの事業で参加者が前年度を上回る結果となりコロナ禍からの回復を感じることができる一年となりました。主に小学生とその保護者を対象とした「古代体験教室」では、小学校の団体利用が増加傾向であったほか、「埋蔵文化財センター(考古館)特別展」では前年度の倍以上となる市民が事業に参加し、歴史を学ぶ機会とすることができ、事業全体では延べ58,007人の参加を得る結果となりました。

文化・スポーツ拠点施設等の管理運営では、イベントやスポーツ活動が活発化される中で、利用者の安心安全を最優先に適切な管理運営を行ったことにより、6施設の利用者は約171万人(対前年比17.4%増)、使用料等の収入は約4億7,800万円(対前年比15.2%増)となりました。

## 2 事業区分

### 公益目的事業1 (51事業) (定款 第4条第1項第1号事業及び第4号事業)

多様な感性や創造力を高める機会や様々な学習機会を提供し、市民が生活に潤いや豊かさを感じることができる環境の実現に努めた。

### 公益目的事業2 (76事業) (定款 第4条第1項第2号事業及び第4号事業)

トップアスリートのプレーを直接見る感動、仲間と共に汗を流して感じる充実感や達成感など、市民がスポーツを通じて生活に生きがいや喜びを感じることができる環境の実現に努めた。

### 公益目的事業3 (13事業) (定款 第4条第1項第3号事業及び第4号事業)

貴重な埋蔵文化財を後世に伝えるため、土地開発等に際し発掘調査を行い、出土した遺物の保存等を行った。

### 収益事業 (4事業) (定款 第4条第2項第1号事業及び第2号事業)

文化・スポーツ施設における公益目的事業以外への貸与及び駐車場・売店の適正な運営に努めた。

### 3 事業区分別事業報告

#### 公益目的事業

##### 公益目的事業1

(定款第4条第1項第1号事業)

文化振興に関する事業の企画、実施、調査研究及び普及啓発に関すること

(定款第4条第1項第4号事業)

松山市から受託する文化・スポーツ拠点施設等の管理運営

##### ① 公演事業

市民が文化に接し、体感し、魅力を広める機会を提供するために、文化拠点施設であるホールなどを活用する自主公演などのイベントをはじめ、地域住民が主体となって地域文化を紹介する機会を提供し、これを市民が等しく享受できる事業

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	コスモシアター上映事業				
開催時期	通年	回数	1,490回	会場	コスモシアター
延べ入場者数	16,109人	前年度延べ入場者数		13,809人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	9,175,540円	9,187,902円		3,971,870円	
【内容】	惑星や宇宙等を題材にし、幼児をはじめ、子どもや家族連れに人気があるキャラクターが登場するデジタル番組や最新の宇宙科学を題材とした番組を上映した。【上映番組】妖怪ウォッチ、クレヨンしんちゃん、ちびまる子ちゃん、忍たま乱太郎、水の惑星、コズミックハーモニー 外				
【結果】	夜空に輝く星や星座に関する番組を上映し、一般市民はもとより学校や幼稚園・保育園、放課後等デイサービスなどの団体に、天文等について楽しみながら学べる機会を提供した。大人向けの番組として、地球や星空の美しい映像を取り入れた「水の惑星」や、富田勲の音楽と最新の宇宙の映像を組み合わせた「コズミックハーモニー」も好評を得た。				

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	幼児のためのクラシックコンサート				
開催時期	6月18日(日)	回数	1回	会場	こども館 コスモシアター
延べ入場者数	223人	前年度延べ入場者数		318人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	140,000円	107,716円		184,000円	
【内容】	クラシック音楽に接する機会が少ない乳幼児と保護者を対象としたプロの演奏家による演奏会。プラネタリウムの星空のもと親しみやすいクラシック音楽や童謡等、季節に合わせた楽曲を演奏した。				
【結果】	募集定員(200人) 応募者数(266人) 参加者数(223人) 延べ入場者数(223人)				
星空の映像とクラシック音楽を融合した乳幼児向けのコンサートを開催した。当初は、家族単位で1席空けて対応出来るよう200人の定員で募集をしたが、コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、応募者全員を当選とした。昨年度は年2回の開催であったが、本年度は12月に愛大連携事業でクラシックコンサートを開催したため、年1回の開催に変更した。					

<①公演事業>

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	第28回市民ミュージカル				
開催時期	7月16日(日)～17日(月)	回数	4回	会場	キャメリアホール
延べ入場者数	2,818人	前年度延べ入場者数		1,488人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	12,730,000円	11,387,585円		8,444,000円	
【内容】					
市民の文化芸術への興味を喚起し、舞台芸術を目指す人材の発掘と、舞台芸術の創出を図ることを目的として、市民から出演者を広く募集し、市民演者による市民のためのミュージカルを上演した。					
【結果】 募集定員(120人) 応募者数(134人) 参加者数(113人) 延べ入場者数(2,818人)					
コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、客席数をコロナ禍前に戻し集客を行った。出演者は、約半数が新規の参加者で、小学生から70代の大人まで幅広い年齢層の市民が1つの作品を作り上げるという貴重な機会になったことから文化芸術に興味を持つ市民の裾野を広げることができた。また人との繋がりを作り、生きがいや活気のある地域社会の発展へと繋がる事業となった。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	カルスポフェスタ				
開催時期	3月17日(日)	回数	1回	会場	キャメリアホール
延べ参加者数	490人	前年度延べ参加者数		131人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,444,000円	1,388,772円		0円	
【内容】					
共生社会の実現を目的とし、文化とスポーツが融合したイベントを実施した。					
【結果】 参加者数(490人) 延べ参加者数(490人)					
セインズクリエイト、愛媛県障がい者アートサポートセンターの協力のもと、様々な団体がステージイベントを楽しむことができた。ウォーキングイベント、トークショー、eスポーツ及び琴の体験コーナーを取り入れ、楽しく、豊かに生きるヒントを考えた。					

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	第32回野外活動センターまつり				
開催時期	10月22日(日)	回数	1回	会場	野外ステージ ダイニングシェルター及び周辺
延べ参加者数	1,500人	前年度延べ参加者数		中止	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,201,000円	640,108円		108,800円	
【内容】					
松山市青少年団体連絡協議会や五明地区の主要団体との協働による、全年齢を対象としたオープン型の集客イベント。地元五明地区をはじめ各種団体の出演によるステージプログラム、クラフトや遊び・ゲーム等の体験事業、カレーライスや焼きそば等の食品バザー(模擬店)等を展開した。					
【結果】					
4年ぶりの開催となったセンターまつりは、当日の天候にも恵まれ、準備日も含めて大きな問題やトラブルなどなく予定通りに開催し、約1,500人の市民に会場いただくことができた。また、職員によるカレーライスの販売や、各協力団体で採算をとっていただく形態のブース出店を行なうなど、関係諸団体の協力により無事に実施することができ盛況を得た。					

<①公演事業>

施設名	その他の施設				
事業名	第2回「こどものための鍵盤楽器講座」(聖カタリナ大学連携事業)				
開催時期	9月13日(水)	回数	1回	会場	聖カタリナ大学 聖カタリナホール
延べ参加者数	350人	前年度延べ参加者数		347人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	100,000円	100,000円		0円	
【内容】					
<p>聖カタリナ大学との連携協定に基づき、北部地域の子どもたちに文化・芸術について広く興味喚起を図るため、パイプオルガンやピアノを使用した楽曲を鑑賞する機会を提供した。</p>					
【結果】 募集定員(700人) 応募者数(357人) 参加者数(350人) 延べ参加者数(350人)					
<p>単に楽器を演奏するだけでなく、曲や作者の解説を織り交ぜ、同じ曲を違う楽器で演奏することで音色の違いも感じることができる内容であったことから、子どもたちの楽器や音楽に対する関心を深めることができ、音楽をつうじた文化振興や情操教育の一助となる事業となった。</p>					

施設名	その他の施設				
事業名	【新規事業】親子で楽しむふれあいコンサート(愛大連携事業)				
開催時期	12月17日(日)	回数	1回	会場	愛媛大学
延べ参加者数	41人	前年度延べ参加者数		-	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	175,000円	80,000円		20,500円	
【内容】					
<p>愛媛大学の演奏室で県内を中心に活躍する音楽家を招へいし、愛媛大学教員・学生も参加して親子が楽しめるコンサートと楽器体験講座を実施した。</p>					
【結果】 募集定員(40人) 応募者数(147人) 参加者数(41人) 延べ参加者数(41人)					
<p>単に演奏を聴くだけでなく、曲や楽器の解説を織り交ぜ、3つの弦楽器で演奏することで音色の違いも感じることができる内容であったことから、親子で楽器や音楽に対する興味を引き立たせることができた。また、一緒に演奏する体験・質問コーナーもあり、音楽をつうじた文化振興や情操教育の一助となる事業となった。</p>					

## ② 教室事業

市民のニーズに合わせて各種教室を開催し、市民が文化に出会い、参加する機会を提供する。

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	工 作 教 室				
開催時期	土・日・祝 夏休み期間中等	回数	145回	会場	こども館
延べ参加者数	4,022人	前年度延べ参加者数		2,619人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,302,000円	1,002,386円		1,314,270円	
【内容】					
土曜日・日曜日・祝日及び小学校の長期休暇期間中に子どもを対象とした「こま」や「けん玉」などの伝統的なおもちゃをはじめ、さまざまな手作りおもちゃの作り方を指導する教室。					
【結果】					
原材料の高騰により単価が大幅に上がった物や、生産中止となった物もあり、同等品や代替品、新製品を常に調査し、品不足にならないよう利用者に提供した。 参加者からは「安い値段で気軽に作れる」、「楽しく作れた」、「作り方を指導してくれるので助かった。」などの感想があった。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	小学生サイエンス教室（ラジオの話）				
開催時期	8月19日(土)、26日(土)、12月23日(土)	回数	6回	会場	こども館
延べ参加者数	13人	前年度延べ参加者数		45人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	180,000円	175,405円		39,000円	
【内容】					
小学4年生から6年生迄を対象にラジオ工作を実施することにより、防災意識やラジオの必要性を認識し、科学に興味を持ってもらう教室。					
【結果】 募集定員（12人×6回） 応募者数（17人） 参加者数（13人） 延べ参加者数（13人）					
ラジオの歴史や仕組みをパソコンを使って、わかりやすく解説し、子供だけでなく、保護者の方にも理解していただけた。参加者からは「ラジオのくわしい話がきけておもしろかったです。」「ラジオを聞くのが初めてだったので音が出たしゅんかん、びっくりした。」「夏休みの自由研究にと思い参加しました。よい経験ができました。」「自分だけのラジオを作れてうれしかったです。」などの感想があった。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	【新規事業】小学生サイエンス教室（電気の話）				
開催時期	7月30日(日)、8月5日(土)	回数	4回	会場	こども館
延べ参加者数	16人	前年度延べ参加者数		-	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	96,000円	80,503円		32,000円	
【内容】					
小学4年生から6年生迄を対象に電気の利用キット工作を実施することにより、電気の必要性や節電意識を認識し、科学に興味を持ってもらう教室。					
【結果】 募集定員（12人×4回） 応募者数（21人） 参加者数（16人） 延べ参加者数（16人）					
電気の歴史や発電・送電の仕組みをパソコンを使って、わかりやすく解説し、子供だけでなく、保護者の方にも理解していただけた。参加者からは「すごくたのしかった。おもしろかった。」「電気をためて走らせるのが楽しかった。」「とても電気についてくわしく説明してくれて、実験もとても楽しかったです。」などの感想があった。					

<②教室事業>

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	小学生天文教室				
開催時期	7月30日(日)、8月26日(土)	回数	2回	会場	こども館
延べ参加者数	16人	前年度延べ参加者数		16人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	80,000円	70,592円		64,000円	
【内容】					
小学4年生から6年生迄を対象に天体望遠鏡工作や星の観察方法の解説を行う教室。					
【結果】 募集定員(10人×2回) 応募者数(21人) 参加者数(16人) 延べ参加者数(16人)					
プラネタリウムで当日の星空を解説し、実際の星空でファーストライト(最初の観望)を行った。参加者からは「はじめて望遠鏡で月を見て、感動しました。理科の授業で星の勉強をしているのでとても役に立ちました。家でも見てみようと思います。」「作るのは少し難しかったけど、自分で最後まで作れて楽しかった。月や土星も見れてうれしかった。家でさっそく使ってみたい。」などの感想があった。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	第18回坊っちゃんカップ&第2回マドンナ杯 将棋大会・将棋教室				
開催時期	7月30日(日)	回数	1回	会場	大会議室
延べ参加者数	96人	前年度延べ参加者数		53人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	150,000円	150,000円		0円	
【内容】					
日本将棋連盟のトッププロを招へいし、市民がプロ棋士と直接対局し指導を受けることによって技術を高め、将棋大会をつうじて世代を超えた交流を図った。					
【結果】 募集定員(100人) 応募者数(96人) 参加者数(96人) 延べ参加者数(96人)					
プロ棋士の西川和宏 六段を大阪から招き、初心者向けの指導対局や、地元小学生(石井北小学校5年生 堀井創平さん)との席上対局を開催した。また、クラス別の将棋大会も同時に実施し、小学生～60代の世代を超えた参加者達の熱い戦いが繰り広げられた。コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、県外からも多く参加した。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	松山シルバーコーラス事業				
開催時期	9月～3月	回数	30回	会場	カメラリアホール
延べ参加者数	5,372人	前年度延べ参加者数		1,299人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,828,000円	1,680,484円		902,000円	
【内容】					
高齢者によるコーラスグループ活動と発表の機会を提供し、高齢者の生きがいづくりと音楽の振興に寄与した。					
【結果】 募集定員(200人) 応募者数(217人) 参加者数(202人) 延べ参加者数(5,372人)					
コーラス前に簡単な運動を取り入れたり、親しみのある歌を選曲して活動を行い、30回の開催で延べ5,372人の参加となった。多くの市民のコミュニケーションの場となり、体の機能向上・維持が期待できる事業となった。またカルスポフェスタでは、105人が参加し日頃の練習の成果を発表した。					



<②教室事業>

施設名	松山市民会館				
事業名	ゴスペル教室				
開催時期	5月～2月	回数	24回	会場	小ホール会議室
延べ参加者数	600人	前年度延べ参加者数		572人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	750,000円	328,559円		440,000円	
【内容】					
発声練習をとおしてゴスペル曲を参加者全員で楽しく、大きな声で歌ってストレスを発散し、歌うことが好きになり、最終回で成果を披露することができた。					
【結果】 募集定員（50人×1コース×3期） 応募者数（150人） 参加者数（88人） 延べ参加者数（600人）					
定員150人に対して、応募者は100人、参加者は88人と昨年度（82人）を若干上回った。募集定員を下回った要因としては、コロナ禍明けで大人数での発声にまだ躊躇しているのではないかと推測する。参加者の6割はリピーターであり、講師の指導が好評であることが安定した参加者数に繋がっている。最終回の発表会は受講者にとってモチベーションとなっている。					

施設名	松山市民会館				
事業名	ペン習字教室				
開催時期	5月～11月	回数	16回	会場	第5会議室
延べ参加者数	133人	前年度延べ参加者数		248人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	250,000円	182,370円		100,000円	
【内容】					
文字を書く機会が減少し手書きの苦手意識がある市民に、自分の文字が前よりも好きになれるように日本ペン習字研究会の師範が指導した。					
【結果】 募集定員（25人×1コース×2期） 応募者数（25人） 参加者数（20人） 延べ参加者数（133人）					
本年度も幅広い年代層の応募があり、1・2期ともに12～13人の応募があり開催した。マンツーマンでの個別指導の形態が受講者にとって好評であり、受講後のアンケートでは、ほとんどの方から参加した効果を実感したとの回答を得た。					

施設名	松山市民会館				
事業名	カメラ教室				
開催時期	10月～11月	回数	5回	会場	第5会議室
延べ参加者数	46人	前年度延べ参加者数		116人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	240,000円	46,650円		50,000円	
【内容】					
デジタルカメラを所有する初心者を対象に、講師から様々な基礎知識や一歩進んだ撮影技術等を学んだ。					
【結果】 募集定員（15人×1コース×1期） 応募者数（12人） 参加者数（10人） 延べ参加者数（46人）					
第1期は初級編を予定していたが、応募数が少なかったため、中止とした。第2期も初級編を企画し、昨年度や第1期に応募した方へのDMやHP、広報等への掲載により12人の応募があり開催することができた。参加者は、「脱オート」を目標に掲げて愛機の操作方法を習得することができた。					

<②教室事業>

施設名	松山市民会館				
事業名	はじめての絵手紙教室				
開催時期	5月～3月	回数	5回	会場	第7会議室・洋室3
延べ参加者数	125人	前年度延べ参加者数		47人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	90,000円	149,497円		151,000円	
【内容】					
実績のある講師による初心者を対象とした講座。全6回で基本的な技術を習得し、絵手紙を描く楽しさと癒しを実感してもらった。					
【結果】 募集定員（15人×1コース×3期） 応募者数（51人） 参加者数（40人） 延べ参加者数（125人）					
昨年度は新規事業として1期を開催した。今期は昨年度参加者と新規応募者により定員数を満たして1・2期を開催した。また、絵手紙の魅力に触れてもらうために、1回限りの教室を開催し、24人の応募があり関心の高さを実感することができた。新規応募者は、ほとんどが初めての経験であったが講師の丁寧かつユーモアのある指導が好評で、次回も参加したいとの声を多くいただいた。					

施設名	松山市民会館				
事業名	【新規事業】楽し～句会教室				
開催時期	1月～3月	回数	5回	会場	洋室1
延べ参加者数	30人	前年度延べ参加者数		-	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	100,000円	47,150円		30,000円	
【内容】					
歳時記などにより、四季折々の風景を俳句にした。					
【結果】 募集定員（20人×1コース×1期） 応募者数（6人） 参加者数（6人） 延べ参加者数（30人）					
本年度より開催の事業で、本来年間第1期に行う予定であったが、新規事業のうえ、新型コロナウイルスの影響もあり、募集人員15人に対し、5月募集2人、10月募集2人と低調であった。しかし、1月募集で過去の応募者への連絡と新規の応募者で6人となり開催した。参加者からは俳句の面白さを感じることができた、次回も参加したいとの声をいただいた。					

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	森の陶芸教室				
開催時期	10月29日（日）、12月3日（日） 1月21日（日）、2月25日（日）	回数	1回2日間×2回	会場	雨天キャンプファイヤー場・野外教室B
延べ参加者数	30人	前年度延べ参加者数		74人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	120,000円	62,285円		25,500円	
【内容】					
陶芸家の講師の指導により、1回2日間コースで1日目に「形作り」、2日目に「絵付け・釉薬塗り」を2回行った。野外活動センター内の灯油窯で窯入れ・窯出しを行い、完成品を手渡した。					
【結果】 募集定員（10組×1回2日間×2回） 応募者数（23人） 参加者数（17人） 延べ参加者数（30人）					
秋のコース4組11人、冬のコース3組6人、合計で7組17人となった。アンケートによると、「楽しかった」という感想が5件と最も多く、「丁寧な指導で楽しかった」「出来上がりが楽しみ」という感想もいただき、満足度・スタッフの対応面、運営面は、100%と高い評価を得ることができた。参加者それぞれが、楽しく貴重な時間を過ごすことができたという評価できる。					

<②教室事業>

施設名	その他の施設				
事業名	松山大学・カルスポ公開講座(松山大学)				
開催時期	9月～10月	回数	8回	会場	松山大学樋又キャンパス
延べ参加者数	560人	前年度延べ参加者数		466人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	606,000円	605,800円		210,000円	
【内容】					
<p>松山大学と連携し、大学教授をはじめ財団職員を講師として専門的な講座や、文化・スポーツをテーマにした講座を開催し、生涯学習に取り組むきっかけとなった。</p>					
【結果】 募集定員(120人) 応募者数(70人) 参加者数(70人) 延べ参加者数(560人)					
<p>慶応義塾大学教授、愛媛FC(スポーツ)、企業経営者等、多岐にわたる講師が好評であった。各講師に「地域の取り組みと学び直し」をテーマに地域のための取り組みを講義していただき充実した学びの場となった。</p>					

施設名	その他の施設				
事業名	文化創造事業(ワークショップ・アウトリーチ推進事業)				
開催時期	10月30日(月)、12月20日(水)、1月13日(土) 2月3日(土)、2月4日(日)、2月11日(日) 2月17日(土)、18日(日)	回数	8回	会場	立岩小学校、椿中学校、コミュニティセンター、市民会館、野外活動センター
延べ参加者数	811人	前年度延べ参加者数		49人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	710,000円	655,972円		43,500円	
【内容】					
<p>「松山市文化芸術振興計画」の推進を図るとともに、文化芸術による新たな取り組みを展開した。松山市文化協会会員や地域で活動しているNPO法人等と連携し、文化芸術の新しい活用方法や伝統芸能に触れる機会を創出した。</p>					
【結果】 参加者数(765人) 延べ参加者数(811人)					
<p>松山市文化協会会員や地域で活躍している芸術家と連携し、文化芸術の新しい活用方法や伝統芸能に触れる機会を創出できた。①小学生ワークショップ(立岩小学校)②中学生アウトリーチ(椿中学校)③外国人伝統文化体験教室 ④野外活動センター事業とのコラボ ⑤成人対象ワークショップ ⑥子ども対象ワークショップ を開催した。</p>					

### ③ 体験事業

主に長期休み期間や週末に見童や親子を対象に、手作り体験や実地体験などをおしてさまざまな種類の文化に共感し、また文化への関心を高めるための機会を提供する。

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	星空観望会				
開催時期	通年	回数	12回	会場	こども館
延べ参加者数	493人	前年度延べ参加者数		387人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	100,000円	10,450円		98,600円	
【内容】					
こども館の屋外で、解説を交えながら惑星や星座等を天体望遠鏡を使って観察することにより、天文や宇宙への興味を高めてもらう機会を提供した。					
【結果】 募集定員(50人×10回) 応募者数(493人) 参加者数(493人) 延べ参加者数(493人)					
「中秋の名月」、「土星」、「木星」の観望会は、参加者が多かった。毎月参加してくれている参加者もいるなど、好評をいただいた。参加者からは「天体望遠鏡を実際に見ることができてよかった。」「何回通っても色々なことをしていただき、説明もわかりやすく楽しいです。」などの感想があった。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	季節体感イベント				
開催時期	通年	回数	13回	会場	こども館
延べ参加者数	1,346人	前年度延べ参加者数		1,114人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	162,000円	86,519円		92,000円	
【内容】					
季節に合わせた手作りプレゼント工房など。					
【結果】 募集定員(120組×13回) 応募者数(1,346人) 参加者数(1,346人) 延べ参加者数(1,346人)					
新型コロナウイルスが5類に移行後は、参加者が増え、特に「敬老の日プレゼント」や「松ぼっくりツリー」の人气が高かった。参加者からは「季節感のあるイベントで、とても良かったです。」「マイバッグを作り、とても楽しかったです。」「子どもにも教えられるきっかけになり良いと思いました。」などの感想があり、好評であった。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	おもちゃ病院				
開催時期	5月7日(日)、8月6日(日)、12月3日(日)	回数	3回	会場	こども館
延べ参加者数	110人	前年度延べ参加者数		122人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	18,000円	13,200円		0円	
【内容】					
壊れているおもちゃを、おもちゃドクターが治療(修理)する「おもちゃ病院」を「開業」した。自分の大事なおもちゃが治療されていく過程を見学し、物を大切に扱うことを学ぶ事業を開催した。(参加費は無料、修理部品代は実費。)					
【結果】 募集定員(50組×3期) 応募者数(110人) 参加者数(110人) 延べ参加者数(110人)					
完治が66個、入院(後日完治)が23個で、約81%が修理できた。参加者からは「あきらめていましたが、来て良かった。思い入れのあるオモチャなので大切に使います。」「古いおもちゃだったのに丁寧にみて、直してもらえて良かったです。子どもも大喜びです。」などの感想があった。					

<③体験事業>

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	駄菓子屋さん				
開催時期	9月23日(土)、11月3日(金祝)、3月24日(日)	回数	3回	会場	こども館
延べ参加者数	1,044人	前年度延べ参加者数		中止	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	90,000円	76,857円		88,580円	
【内容】					
小さい子どもでも楽しくお買い物できる駄菓子やくじ引きコーナーを設け、買い物を楽しむ。					
【結果】					
駄菓子販売だけでなく、くじ引きコーナーを設けるなど子供たちがより楽しめるよう工夫した。子どもの買い物の様子をスマホで撮影する保護者もあり、親子のふれあいの場としても楽しんでもらうことができた。参加者からは「お金の計算の勉強になり、とても良かった!」「一人で買い物できるのはとても良いと思った。」「子供たち、大よろこびでした!笑顔を見られて、私も幸せでした。」などの感想があった。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	キッズジョブまつやま2023				
開催時期	11月26日(日)	回数	1回	会場	松山市総合コミュニティセンター全館
延べ参加者数	1,447人	前年度延べ参加者数		971人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,000,000円	999,980円		0円	
【内容】					
働くことの楽しさや厳しさを学んでもらうとともに、将来なりたい職業を見つけるきっかけや、関心のあがる職業への理解を深め、将来の目標を考える機会を提供した。					
【結果】 応募者数 (1,531人) 参加者数 (1,447人)					
授業割り振りが非常に厳しい作業となったが、応募者全員を当選とすることができた。結果、参加者を増やすことができ、実行委員会スタッフ、保護者、出展者全員が満足できる事業となった。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	バックステージツアー				
開催時期	8月25日(金)	回数	1回	会場	キャメリアホール
延べ参加者数	41人	前年度延べ参加者数		38人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	50,000円	134,890円		20,500円	
【内容】					
舞台職員による音響・照明・舞台装置などさまざまな舞台裏を広く一般市民に見ていただくことで、文化芸術及び裏方の業務にも興味を持ってもらえるように普及啓発をおこなった。					
【結果】 募集定員 (40人) 応募者数 (135人) 参加者数 (41人) 延べ参加者数 (41人)					
開催時期を夏休みに設定し、親子参加で募集をしたところ、定員の3倍を超える応募があった。また、時間帯を午前から午後、体験時間を2時間から2時間30分に変更したことで、昨年度より余裕を持って舞台の仕組みや職員の仕事を説明する事ができた。普段は見ることのできない舞台の裏側を体験する事業として、参加者から好評を得た。					

<③体験事業>

施設名	松山市民会館				
事業名	「こどもおけいこ教室」伝統文化こども伝承事業				
開催時期	7月～8月、12月～1月	回数	25回	会場	小ホール外
延べ参加者数	432人	前年度延べ参加者数		323人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	927,000円	635,568円		261,000円	
【内容】					
小学生に対し伝統文化を体験できる機会を提供することにより、伝統文化を継承・発展させるとともに、裾野の拡大を目指した。					
【結果】 募集定員（80人） 応募者数（110人） 参加者数（87人） 延べ参加者数（432人）					
小学生を対象とした日本の伝統文化に触れる各種教室を夏季は将棋、お琴、三味線、尺八、冬季は競技かるたをそれぞれ実施した。参加者からは、今後も練習を続けたいと財団や講師のもとに連絡があり伝統文化普及活動の一助となった。					

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	森のやすらぎ親子クラブ				
開催時期	5月～6月、9月～12月	回数	6回	会場	レストハウス・場内
延べ参加者数	41人	前年度延べ参加者数		56人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	515,000円	94,403円		20,500円	
【内容】					
未就学児と保護者を対象として、「NPO法人自然環境教育えことのは」の指導により、野外活動センターの敷地内で昆虫・草花・木の実等の自然観察を行うとともに、おにぎり作りを行った。					
【結果】 募集定員（15組×6回） 応募者数（82人） 参加者数（41人） 延べ参加者数（41人）					
アンケートによると、未就学児に普段体験することのできない自然に触れ合うことができる機会を与えられた等の感想をいただき、満足度において94%と高い評価を得ることができた。今後、宣伝・周知を広め、新規の参加者を募る。					

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	タケノコ掘りまつり				
開催時期	4月9日(日)、16日(日)、23日(日) 29日(土祝)雨天中止	回数	4回	会場	タケノコ山
延べ参加者数	500人	前年度延べ参加者数		270人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	195,000円	46,018円		300,000円	
【内容】					
センター内の竹林にて、タケノコ掘りを体験し、自然に親しむきっかけとする。また、自分で掘ったタケノコはお持ち帰りいただき、ご自宅などでタケノコの「匂」を楽しんでいただく。					
【結果】 募集定員（200×4回） 応募者数（762人） 参加者数（500人） 延べ参加者数（500人）					
コロナ感染症対策の緩和状況の過渡期であり、定員をコロナ禍以前に戻すべく1回当たりの参加人数の上限を150人から200人（総800人）に改めた結果、竹林で毎週の連続収穫に耐えない場所があり、最終日のタケノコ不足になってしまったことから、タケノコ掘りは上限が600人程度であると考えている。					

<③体験事業>

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	森のやすらぎ親子アート				
開催時期	5月21日(日)、7月2日(日)、11月26日(日)	回数	3回	会場	雨天キャンプファイヤー場・研修室
延べ参加者数	89人	前年度延べ参加者数		89人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	153,000円	147,871円		44,500円	
【内容】					
<p>野外活動センターの魅力である自然を活かし、固定概念にとらわれない自由な発想によるアートを親子で体験する。</p>					
【結果】 募集定員(15組×3回) 応募者数(136人) 参加者数(89人) 延べ参加者数(89人)					
<p>アンケートにおいては、「楽しかった」という感想が多く「家ではできないことが体験できた」「夢中になった」等の感想をいただき、満足度100%、運営面・対応面は91%と高い評価となった。子ども一人一人のアイデアや感性を生かして製作することで、子どもの内面的な成長をもたらす内容であり、事業参加により、今後も当センター利用の促進が期待される付加価値の高い事業である。</p>					

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	親子わくわくデイキャンプ				
開催時期	5月28日(日)、6月25日(日) 2月18日(日)	回数	3回	会場	キャンプゾーン
延べ参加者数	121人	前年度延べ参加者数		127人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	157,500円	93,083円		136,500円	
【内容】					
<p>これからキャンプを始めようとする初心者の家族を対象に、参加しやすい日帰りで「テント・タープ設営・撤去」や「野外料理」などの野外活動を体験していただいた。</p>					
【結果】 募集定員(14組×3回) 応募者数(276人) 参加者数(121人) 延べ参加者数(121人)					
<p>雨天キャンプファイヤー場を集合場所とし受付後、フリーテントサイトC・Dでテントの設営講習、炊事棟に移動して飯盒でご飯・カレーを作り、その後テントでゆっくり過ごし、テント撤収講習をして自由解散というスケジュールで実施した。参加者から「イベントに参加して満足だった」という意見が多くあり、今後もゆったりとしたスケジュールで実施する。</p>					

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	はじめての親子キャンプ				
開催時期	5月13日(土)~14日(日)雨天中止 9月9日(土)~10日(日)	回数	2回	会場	フリーテントサイト
延べ参加者数	32人	前年度延べ参加者数		23人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	182,000円	66,482円		68,000円	
【内容】					
<p>これからキャンプを始めようとする初心者の家族を対象に、宿泊を伴った「テント設営」や「野外炊事」などの野外活動を体験していただいた。</p>					
【結果】 募集定員(14組×2回) 応募者数(161人) 参加者数(32人) 延べ参加者数(32人)					
<p>全2回で51組161人の応募があり、1回目は天候不順により中止、2回目は、10組32人で実施した。参加者からは、「親子で楽しめた」や「焚き火などいろんな体験が出来た」と満足度の高い声をいただいた。</p>					

<③体験事業>

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	昆虫観察事業				
開催時期	7月8日(土)、15日(土)、7月16日(日)～8月16日(水) 9月15日(金)、2月4日(日)	回数	5回	会場	カブトムシツインドーム外
延べ参加者数	1,088人	前年度延べ参加者数		698人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	515,000円	222,439円		26,500円	
【内容】					
カブトムシツインドーム内での観察会や昆虫観察探検を実施し、自然を満喫していただいた。本年は、冬の昆虫観察に加え、新規に「秋虫の声を聞くつどい」を実施した。					
【結果】 夜間クワガタムシ探検(31人) 秋虫の声を聞くつどい(12人)冬の昆虫観察(43人) カブトムシツインドーム入場者数 (1,002人)					
7月16日から8月16日までカブトムシツインドームでの案内誘導と昆虫解説をおこなった。今年度は夜間のクワガタムシ採集として実施し、センター内でのクワガタムシ採集を楽しんだ。秋虫の声を聴く集いではゲームをしながら昆虫カードを配って秋虫の同定をした。冬の昆虫観察では隠れた冬の昆虫を探し越冬する生き物を観察した。					

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	ファミリーオートキャンプ				
開催時期	11月4日(土)～5日(日)	回数	1回	会場	オートキャンプ場
延べ参加者数	28人	前年度延べ参加者数		22人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	75,000円	72,133円		78,000円	
【内容】					
これからオートキャンプを始めようとする初心者の家族を対象に、宿泊を伴った「テント・タープ設営・撤去」や「野外炊事」などの野外活動を体験していただいた。					
【結果】 募集定員(10組×1回) 応募者数(163人) 参加者数(28人) 延べ参加者数(28人)					
49組163人の募集があり、抽選により10組37人となった。イベント数日前からキャンセルが4件あり、次点者に連絡を取り10組としたが、前日に子供の発熱等で2件のキャンセルがあり8組28人での実施となった。オートキャンプ初心者の参加者に、職員が丁寧な指導・サポートを行ったことにより高評価を受けた。					

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	五明ふるさとのんびりウォーク				
開催時期	11月25日(土) 応募者少数のため中止	回数	1回	会場	五明地区
延べ参加者数	中止	前年度延べ参加者数		20人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	9,000円	504円		0円	
【内容】					
五明まちづくり協議会及び地元の方と連携して五明地区の名所旧跡、街並みを巡るとともにウォーキングの楽しさを体験していただく。					
【結果】 募集定員(30人×1回) 応募者数(4人) 参加者数(-人) 応募者が少なかったため中止					
募集人数が3組4人だったため、中止とした。					



<③体験事業>

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	リバイバルキャンプ（もう一度キャンプ）				
開催時期	6月3日(土)～4日(日) 3月2日(土)～3日(日)雨天中止	回数	2回	会場	オートキャンプ場
延べ参加者数	18人	前年度延べ参加者数		40人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	60,000円	20,204円		23,250円	
【内容】					
<p>野外活動センター職員が参加者が持参する道具を使ったキャンプをお手伝いすることや、色々な焚火台、薪を使った焚火の楽しみ方や着火方法、今流行りのポップテント（ミリタリー調簡易テント）の設営を体験することで、キャンプの楽しさを再発見していただいた。</p>					
【結果】 募集定員（10組×2回） 応募者数（40人） 参加者数（18人） 延べ参加者数（18人）					
<p>6/3は、参加者の道具に加えてセンターのキャンプ道具も貸し出すことで充実したキャンプを堪能していただいた。参加者からタイトルである「リバイバルキャンプ」では内容などが分かりにくいのご意見が多く寄せられたため、2回目は事業名を「もう一度キャンプ」と改め参加を募り、定員近くの9組22人の応募があったが、午前中に降雪するなど厳しい寒さが予想されたため中止とした。</p>					

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	ゆったり過ごす焚き火の夕べ				
開催時期	2月3日(土)	回数	1回	会場	雨天キャンプファイヤー場
延べ参加者数	29人	前年度延べ参加者数		39人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	15,000円	54,371円		16,500円	
【内容】					
<p>冬の寒い野外で焚火台を使用して焚き火を体験し、暖を取りながら薪割り体験や食事・野外コンサートを楽しんでいただいた。</p>					
【結果】 募集定員（10組×1回） 応募者数（36人） 参加者数（29人） 延べ参加者数（29人）					
<p>当日は、昼から小雨が降りだす天気となったが、参加者の皆さんは、雨でも良い雰囲気と感じられた様子であった。アンケートによると「キャンプ初心者で焚き火は興味があったけど手が出せなかったのが、このイベントはとても楽しみにしていました。また参加したいです。」「子供も楽しめ、大人も癒され参加して良かったです。歌もすごく素敵で焚き火にぴったりでした。」と好評を得た。</p>					

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	エンジョイホリデーイベント「春の大収穫祭」じゃがいもを掘ろう！				
開催時期	6月18日(日)	回数	1回	会場	ロッジB東側の畑
延べ参加者数	46人	前年度延べ参加者数		53人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	30,000円	14,874円		27,600円	
【内容】					
<p>じゃがいも掘りをとおして作物の育成と収穫を体験し、自然の営みに触れていただくことにより、野外活動の楽しさを体験する場を提供した。</p>					
【結果】 募集定員（50人） 応募者数（101人） 参加者数（46人） 延べ参加者数（46人）					
<p>連作障害を避けるため前年グランド南側の畑から、今年はロッジB東の畑でじゃがいもを栽培し事業に備えた。晴天の中実施し、株数を人数に割り当て区画を分け、区画によっては少ない部分があったが、予備区画を使い参加者の収穫に差を無くした。全体的に良く収穫でき、参加者には自然の中でじゃがいも掘りを楽しんでいただけた。</p>					

<③体験事業>

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	エンジョイホリデーイベント「ホテル観察」				
開催時期	6月9日(金)	回数	1回	会場	林間教室・親水広場
延べ参加者数	44人	前年度延べ参加者数		36人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	10,000円	1,656円		8,800円	
【内容】					
当センターに生息するホテルの観察を実施することにより、令和元年から2年まで閉鎖していた親水広場復旧の周知を図るとともに、野外活動の素晴らしさを体感していただいた。					
【結果】 募集定員(50人) 応募者数(101人) 参加者数(44人) 延べ参加者数(44人)					
今年度は親水広場上半分で去年より多くのゲンジボタル・ヒメホテルを参加者に観察してもらった。たくさんのホテルに感動したというアンケートでの記述が複数あった。イベントに参加した満足度は80%、スタッフ対応は80%良いと高評価を得た。					

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	エンジョイホリデーイベント「夏の大収穫祭」かぼちゃを採ろう!				
開催時期	7月23日(日)	回数	1回	会場	グラウンド南側の畑
延べ参加者数	39人	前年度延べ参加者数		37人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	30,000円	7,581円		23,400円	
【内容】					
野外活動センターの自然環境を活かして栽培した農作物を収穫していただき、自然に親しむ場とした。新型コロナウイルス感染防止対策のため、午前・午後の2回実施した。					
【結果】 募集定員(50人) 応募者数(130人) 参加者数(39人) 延べ参加者数(39人)					
イベント直前にニホンザルの被害に遭い半数以上のかぼちゃが傷つけられたため収穫数が去年より激減した。かぼちゃは収穫しやすいことや、場合によっては時間も短縮できることを考慮して実施した。サルの食痕付きでも良いという人は、かぼちゃ採りを楽しめたが、無傷のかぼちゃを探していた人の収穫は少なかった。					

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	エンジョイホリデーイベント「森のパン作り」				
開催時期	9月3日(日)	回数	1回	会場	レストハウス
延べ参加者数	35人	前年度延べ参加者数		中止	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	24,000円	8,811円		21,000円	
【内容】					
アウトドア料理でなじみのあるダッチオーブンを使用し、野外でのパン作りに挑戦することにより、当センターの魅力伝え、生涯をつうじて家族などでの施設利用に繋げる。					
【結果】 募集定員(40人) 応募者数(144人) 参加者数(35人) 延べ参加者数(35人)					
パン生地をこねる作業から始まり、他の参加家族と共同ではなく自分達だけで取り組み、用意した好みの具材を入れ自由に成形し、オリジナルなパン作りを体験してもらった。ダッチオーブンを使用し、焦がさないように慎重に時々中を確認しながら焼き上げ、出来立てのパンを食べてもらった。					

<③体験事業>

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	エンジョイホリデーイベント「森のピザ作り」				
開催時期	9月24日(日)	回数	1回	会場	レストハウス
延べ参加者数	32人	前年度延べ参加者数		45人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	36,000円	16,805円		28,800円	
【内容】					
ピザの生地作りから始めて、普段使うことがない焚火台とダッチオーブンを使ったピザ焼きを体験することで、アウトドア料理を体験し楽しんでいただける機会を提供した。					
【結果】 募集定員(40人) 応募者数(162人) 参加者数(32人) 延べ参加者数(32人)					
パン生地をこねる作業から始まり、他の参加家族と共同ではなく自分達だけで取り組み、用意した好みの具材を入れ自由に成形し、オリジナルなパン作りを体験してもらった。パンの成形ができた家族からダッチオーブンを使用し、焦がさないように慎重に時々中を確認しながら焼き上げ、出来立てのパンを食べてもらった。					

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	エンジョイホリデーイベント「お月見会」				
開催時期	9月30日(土)	回数	1回	会場	レストハウス
延べ参加者数	29人	前年度延べ参加者数		34人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	20,000円	6,438円		14,500円	
【内容】					
周囲に夜間照明が少なく、晴天時には星を数多く見ることができる施設特性を活用した事業。「月見団子作りと団子を食した後に、月を天体望遠鏡で観望する。」という風情ある事業をつうじて、参加者に風流な秋の夜を楽しんでいただいた。					
【結果】 募集定員(15組) 応募者数(45人) 参加者数(29人) 延べ参加者数(29人)					
白玉粉を混ぜ合わせて生地を作る作業から始まり、大鍋の中で湯がいた団子を自分たちで餡子やきな粉を絡めて、出来立てを食べてもらった。曇り空の残念な天気であったが、こども館職員のプロジェクターによる月を中心とした星空の解説を楽しんでいただいた。天候に対する不満はアンケートには見られず、参加者からは、満足度80%の高い評価をいただいた。					

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	エンジョイホリデーイベント「秋の大収穫祭」さつまいもを掘ろう!				
開催時期	10月28日(土) 立枯病により中止	回数	1回	会場	ロッジB東側の畑
延べ参加者数	中止	前年度延べ参加者数		57人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	30,000円	19,356円		0円	
【内容】					
日常生活では体験する機会が少ない農作物の収穫作業をつうじて、農作業などの野外活動の楽しさを提供する事業。					
【結果】 募集定員(50人) 応募者数(103人)					
37組103人の応募があったが、さつまいもが立枯病に罹り収穫が見込めないので中止とした。					

<③体験事業>

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	エンジョイホリデーイベント「ふたご座流星群観望会 in レインボー」				
開催時期	12月14日(木) 荒天のため中止	回数	1回	会場	芝生広場
延べ参加者数	中止	前年度延べ参加者数		中止	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	8,000円	420円		0円	
【内容】					
毎年多くの流星が見られる「ふたご座流星群」と冬の星座の観察会をコミセンコスモシアター職員による解説込みで実施予定であった。					
【結果】 募集定員(40人) 応募者数(65人) 参加者数(-人) 延べ参加者数(-人)					
事業実施時間帯(20時~22時)の天気予報が荒天となっていたため中止とした。					

施設名	松山市野外活動センター				
事業名	エンジョイホリデーイベント「ミニ門松作り」				
開催時期	12月17日(日)	回数	1回	会場	レストハウス
延べ参加者数	38人	前年度延べ参加者数		39人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	48,000円	2,922円		22,800円	
【内容】					
センター内で採取できる松と竹を使って門松作り。					
【結果】 募集定員(80人) 応募者数(49人) 参加者数(38人) 延べ参加者数(38人)					
前年度は応募者数が少なかったため、令和5年度は幼児を含む家族で体験したいというニーズに応え、対象を3歳以上としたところ、定員以上の応募を獲得できた。 アンケートではスタッフの丁寧な指導やアドバイスに感謝する内容の記載があり、満足度の高い評価となった。					

#### ④ 展示事業

市民が実施している文化活動の成果を、多くの人たちに展覧することによって、文化への共感を広げ、出会い、伝える機会を提供する。

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	カルスポロビー展				
開催時期	随時	回数	—	会場	コミュニティプラザ
延べ参加者数	—	前年度延べ参加者数		—	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	—	—		—	
【内容】					
さまざまな文化活動の成果物をロビーなどのオープンスペースに展示し、来館者たちに楽しんでいただくとともに文化活動への共感の輪を広げる。					
【結果】					
財団が行う各施設の事業案内や活動状況がわかるパンフレットや写真等を展示し、訪れた市民に文化活動の楽しさを伝え、事業のPRを行った。 また、野外活動センターで行っている陶芸教室の作品の展示、製作工程の紹介をするなどし、来館者に楽しんでいただくとともに管理施設の来館者数向上を図った。					

#### ⑤ 情報提供事業（他事業と共通）

財団が実施する事業の内容や参加者の声などを紹介し、文化活動の持つ魅力を広く紹介する事業

市民の文化やスポーツへの関心を高めるとともに、財団事業のPR、利用者への利便性向上のために、財団の主催事業や各施設でのイベントを紹介する「きゃめりあ」を発行した。

また、ホームページによる施設情報や文化・スポーツ情報の提供を行うほか、さまざまなメディアを活用し情報の発信に努めた。

内 容	実施時期	配布数	決算額
施設情報誌「きゃめりあ」発行	月 1 回	15,720部	53,448円
ホームページによる施設、事業案内	随 時	—	—
教室のご案内（チラシ）	年 1 回	30,000部	220,000円

## ⑥ 拠点施設運営事業

市民が気軽に安心して文化活動へ参加できるよう、文化拠点としての環境を整えることで、より多くの市民に文化への共感を広げ、出会い、伝える場を提供する。

### 松山市総合コミュニティセンター

<1>施設の貸与事業

#### カメラリアホール

より多くの市民が文化活動の発表を行なうとともに文化活動に参加できるよう、舞台技術者からの適切な助言・技術サービスや気軽に安心して利用できる場を提供し、文化拠点としての施設運営を推進する。

#### リハーサル室、練習室1、2、3、こども館

文化活動発表の練習を行うために、気軽に利用できる場の提供を行うことにより、文化拠点としての施設運営を推進する。

### 松山市民会館

<1>施設の貸与事業

#### 大ホール、中ホール、小ホール

より多くの市民が文化活動の発表を行なうとともに文化活動に参加できるよう、舞台技術者からの適切な助言・技術サービスや気軽に安心して利用できる場を提供し、文化拠点としての施設運営を推進する。

#### リハーサル室、練習室1、2

文化活動発表の練習を行うために、気軽に利用できる場の提供を行うことにより、文化拠点としての施設運営を推進する。

## 公益目的事業2

(定款第4条第1項第2号事業)

(1) スポーツ振興に関する事業の企画、実施、調査研究及び普及啓発に関すること

(定款第4条第1項第4号事業)

(2) 松山市から受託する文化・スポーツ拠点施設等の管理運営

### ① 大会事業

市民が「出会う」、「参加する」、「育む」、「伝える」をキーワードに、勝敗や記録を目的とする競技スポーツから、楽しみながら連帯感や健康に対する意識を涵養する生涯スポーツまで、誰もが幅広い活動に触れ、参加するとともに、高度な技術を身近に観戦することを通じて、生きがいや喜びを感じることができるよう、スポーツの振興を目指す。

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	空育®JAL折紙ヒコーキ大会				
開催時期	1月28日(日)	回数	1回	会場	体育館メインアリーナ
延べ参加者数	148人	前年度延べ参加者数		中止	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	40,000円	55,673円		29,600円	
【内容】					
折り紙ヒコーキ教室と、自ら作った折り紙ヒコーキの滞空時間を競う。メイン指導は日本航空株式会社松山支店の折り紙ヒコーキ認定指導者が行い、サポート指導及び記録会測定は財団職員が行った。					
【結果】 募集定員(200人) 応募者数(185人) 参加者数(148人) 延べ参加者数(148人)					
折り紙ヒコーキ協会認定指導員(日本航空株式会社社員)に指導いただき、参加者の満足度も高かった。折り紙ヒコーキをより長く飛ばそうとすることで全身運動につながったとともに、飛行機について知るきっかけとなる事業となった。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	愛媛県トップチームバスケットボールクリニック				
開催時期	7月15日(土)	回数	1回	会場	体育館メインアリーナ
延べ参加者数	69人	前年度延べ参加者数		中止	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	50,000円	49,900円		34,500円	
【内容】					
地元スポーツ競技団体と協働でクリニックを実施し、スポーツに対するモチベーションや技術力の向上を図った。					
【結果】 募集定員(50人) 応募者数(72人) 参加者数(69人) 延べ参加者数(69人)					
愛媛県バスケット国体成年男子の母体チームである愛媛ワイルドキャッツの選手の指導により、小学生のバスケット経験者のレベルにあわせたクリニックを実施した。個別指導も交えながら行ったことで競技力向上、競技継続への意欲向上に大きく貢献した事業となった。					

<①大会事業>

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	ひめぎん卓球クリニック				
開催時期	12月25日(月)	回数	1回	会場	体育館メインアリーナ
延べ参加者数	96人	前年度延べ参加者数		24人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	50,000円	74,871円		48,000円	
【内容】					
<p>中学校の卓球部に所属し、県大会出場を目指す選手(強化選手以外)を対象とし、日本卓球リーグ(1部)で活躍する、ひめぎん卓球部所属選手によるクリニックを実施した。</p>					
【結果】 募集定員(100人) 応募者数(100人) 参加者数(96人) 延べ参加者数(96人)					
<p>市内卓球部の上位選手は県卓球協会から強化選手に指定され、ひめぎん卓球部から指導を受ける機会があるが、その他の選手はプロの選手から直接指導を受ける機会はない。そこで財団とひめぎん卓球部が協働で、強化選手以外の部活動選手を対象に卓球クリニックを開催した。アンケート結果では参加者全員が事業内容を「大変良い」としており競技力の向上とスポーツの振興に大きく貢献した。</p>					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	坊っちゃんカップ・第14回道後温泉卓球大会				
開催時期	2月19日(月)、20日(火)、21日(水)	回数	1回	会場	体育館メインアリーナほか
延べ参加者数	1,010人	前年度延べ参加者数		中止	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	2,150,000円	2,239,981円		1,920,000円	
【内容】					
<p>中高齢者を中心に普及している「ラージボール卓球」の全国大会を開催し、松山市の観光スポットでもある松山市立子規記念博物館で前夜祭を開催するなど、スポーツの振興及び道後地区の観光振興を図るスポーツツーリズム事業であった。</p>					
【結果】 募集定員(500人) 応募者数(429人) 参加者数(400人) 延べ参加者数(1,010人)					
<p>全国各地から400人を超えるエントリーがあり、ラージボール卓球大会を開催した。前夜祭などの趣向を凝らしたおもてなしを行ったことで卓球大会だけでなくイベントとして楽しむ要素が多かったことから参加者からは好評であった。また、道後温泉本館霊の湯及び道後温泉別館飛鳥乃湯入浴サービスも130人の利用があり、松山市の魅力を広く全国にアピールできたことで道後を始めとする松山エリアの観光活性化を図れた。</p>					

施設名	松山中央公園				
事業名	【新規事業】スポーツ体験教室(スポーツふれあいデー事業)				
開催時期	9月、10月	回数	2回	会場	北条スポーツセンター体育館・他
延べ参加者数	58人	前年度延べ参加者数		—	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	900,000円	183,582円		0円	
【内容】					
<p>9月は空手、なぎなた、太極拳、フェンシングの4種目、10月は合気道、テコンドー、スポーツチャンバラの3種目の体験会を実施した。</p>					
【結果】 募集定員(70人) 応募者数(79人) 参加者数(58人)					
<p>親子で楽しくスポーツに触れ合ったり、指導者とマンツーマンで日頃実施する機会がないスポーツを体験していただくことができた。また参加したいという方が多く、他の様々な種目も体験してみたいとの声もあり、スポーツの普及振興に貢献する事業であった。</p>					



<①大会事業>

施設名	松山中央公園				
事業名	【新規事業】愛媛県トップスイマースイムクリニック				
開催時期	7月24日(月)	回数	1回	会場	アクアパレットまつやま
延べ参加者数	27人	前年度延べ参加者数		—	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	80,000円	86,624円		10,900円	
【内容】					
中学生から高校生の競泳選手を対象とした愛媛県代表の国体出場選手によるスイミングクリニックを開催した。					
【結果】 募集定員(40人) 応募者数(28人) 参加者数(27人) 延べ参加者数(27人)					
指導者は中京大学院で最先端の競泳トレーニングについて学んでいる現役の国体選手であったことから、県内では受けることができないレベルの高い指導を提供できた。アンケート結果では全員が5段階で最も高い評価としており、満足度の高い事業であった。					

施設名	松山中央公園				
事業名	坊っちゃんランランラン				
開催時期	12月	回数	1回	会場	松山中央公園マドンナスタジアム
延べ参加者数	1,966人	前年度延べ参加者数		1,641人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,000,000円	1,000,000円		0円	
【内容】					
誰もが気軽に参加でき楽しめる大会を目指し実行委員会を立ち上げ、中央公園マドンナスタジアムを出発点とするハーフマラソン、10kmマラソン、イチワリマラソン、車いすマラソンを開催した。					
【結果】 募集定員(2,830人) エントリー数(2,308人) 参加者数(1,966人)					
ハーフマラソンでは1,132人が参加し1,016人がゴール、10kmマラソンでは499人が参加し、496人がゴール、イチワリマラソンでは324人が参加し、322人がゴール、車いすマラソンでは11人が参加し全員ゴールした。4年ぶりに10kmマラソン・イチワリマラソンを復活させ、子どもから大人まで誰もが参加でき、天候も良く気持ちよく走ることでできる大会となった。また参加したいとの声を多くいただいた。					

施設名	北条スポーツセンター・北条体育館				
事業名	トップアスリート招聘事業				
開催時期	3月27日(水)、30(土)	回数	1回	会場	北条スポーツセンターほか
延べ参加者数	380人	前年度延べ参加者数		300人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	3,005,000円	3,642,493円		100,000円	
【内容】					
地元プロサッカーチームの愛媛FC選手とサッカークリニック(中学生対象)、スタジアム見学ツアー、ホームゲーム観戦招待などのイベントを開催した。					
【結果】 募集定員(400人) 応募者数(654人) 参加者数(380人) 延べ参加者数(380人)					
中学生は現役のプロ選手から直接指導を受けたり、一緒に練習を行える機会は少ないため、このイベントをつうじて子どもたちのスポーツへの夢や希望を醸成することができた。イベント全体でも定員を大きく超える申し込みがあり、「プロの選手から直接教えてもらって貴重な体験だった」などアンケート結果も5段階評価の5が82%と大変満足度の高い事業であった。					

<①大会事業>

施設名	北条スポーツセンター・北条体育館				
事業名	タグラグビー				
開催時期	6月10日(土)	回数	1回	会場	北条スポーツセンター
延べ参加者数	294人	前年度延べ参加者数		中止	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	150,000円	169,568円		0円	
【内容】					
<p>タグラグビー初心者と経験者が大会や体験教室をつうじて、スポーツの楽しさを体感してもらい、人々との繋がる機会を創出した。</p>					
【結果】 募集定員(300人) 応募者数(296人) 参加者数(294人) 延べ参加者数(294人)					
<p>交流戦では参加者が各カテゴリー別に交流試合を行い、特に混合の部では年齢や性別に関わらず幅広い層が同じチームでプレーするなど世代間交流を深めることができた。また、親子タグラグビー体験会では初心者の親子が基本ルールを学んだあと、交流戦に出場するなどタグラグビーへの興味関心を高めることができた。</p>					

施設名	北条スポーツセンター・北条体育館				
事業名	スポーツ・レクリエーションフェスティバルin風早				
開催時期	11月4日(土)	回数	1回	会場	北条スポーツセンター
延べ参加者数	362人	前年度延べ参加者数		339人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	300,000円	300,000円		0円	
【内容】					
<p>松山市北部地域のスポーツ振興と地域の活性化を目的とし、地元聖カタリナ大学、松山市第8ブロック公民館、地元企業、当財団の連携事業として、地域交流グラウンド・ゴルフ大会、フィットネス体験会、親子レクリエーション大会、ロコモ予防啓発コーナーでのパネル展示を行った。</p>					
【結果】 募集定員(400人) 応募者数(380人) 参加者数(362人) 延べ参加者数(362人)					
<p>子どもから高齢者まで三世代が参加できるイベントとして、スポーツやレクリエーションでの体験活動をつうじて幅広い世代に健康増進や体力向上への意識喚起、相互交流を図れた。また、聖カタリナ大学との連携事業として松山市北部地域の活性化やスポーツ振興に向けた役割を担えた事業となった。</p>					

施設名	北条スポーツセンター・北条体育館				
事業名	身体障がい者スポーツ交流会				
開催時期	11月5日(日)	回数	1回	会場	北条スポーツセンター
延べ参加者数	250人	前年度延べ参加者数		207人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	250,000円	342,994円		50,000円	
【内容】					
<p>障がい者スポーツをつうじた社会の障がいに対する相互理解を深め、障がい者スポーツの普及発展と共生社会の実現に向けて、パラスポーツ体験会と身体障がい者軟式野球交流大会を開催した。</p>					
【結果】 募集定員(200人) 応募者数(250人) 参加者数(250人) 延べ参加者数(250人)					
<p>年齢、性別、障がいの有無にかかわらず誰でも参加できるイベントとして、パラスポーツの競技体験をつうじて障がいやパラスポーツについての興味関心を広げることができた。また、競技選手や指導員など日頃からパラスポーツに携わっている人々の活動の一助にもなり、パラスポーツの普及・発展を担っている事業となった。</p>					

<①大会事業>

施設名	その他の施設				
事業名	まつやまお城下リレーマラソン				
開催時期	10月	回数	1回	会場	松山公園堀之内地区
延べ参加者数	2,053人	前年度延べ参加者数		中止	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,000,000円	1,000,000円		0円	
【内容】					
<p>小学4年生以上で編成されたチーム対抗の42.195kmリレーマラソンに主催構成団体として開催に協力した。</p>					
【結果】 募集定員（720チーム） 参加者数（247チーム 2,053人）					
<p>新型コロナウイルス禍を経て4年ぶりに開催された大会は、アンカーがチームメートと手をつないでゴールに飛び込んだり、待ち受けた家族と抱き合ったりと、仲間との絆が「密」になった光景が何度も繰り広げられた。財団職員は当日運営補助としてコスチューム審査を行うなど、大会を盛り上げた。</p>					

施設名	その他の施設				
事業名	新春城山登山マラソン				
開催時期	1月	回数	1回	会場	松山公園堀之内地区
参加者数	641人	前年度参加者数		402人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,684,000円	1,420,200円		0円	
【内容】					
<p>「走るよろこび、ふれ合う心、夢と希望の光る道」をスローガンに、第45回目となるマラソン大会を元旦に開催し、徒歩・マラソンとそれぞれの体力に合ったスタイルで、新春のさわやかな風を肌で感じながら、新たな年を健康で迎えられる喜びを共に分かち合うとともに、市民の健康増進を図った。</p>					
【結果】 募集定員（800人） 応募者数（673人） 参加者数（641人）					
<p>城山山頂を目指す城山登山コースは376人、堀端を1周するファミリーコースは265人の参加があった。それぞれの体力に合わせて走り、城山では初日の出を楽しんだり、ファミリーコースでは家族でマラソンを楽しむなど、新年を健康で迎えた喜びをみんなで分かち合った。コロナ以降参加者は回復傾向にあり、元旦の恒例行事としての賑わいを取り戻しつつある。</p>					

## ② 教室事業（一般）

技術の向上、レクリエーションとしての楽しみ、人との共感など、多様な目的や年齢層に対応するさまざまな教室を地域ニーズに合わせて提供し、スポーツをツールに市民が健康への関心など生涯スポーツへの意識を高めていくための事業を開催する。

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	<b>水泳教室</b>				
開催時期	4～6月、9～11月	回数	110回	会場	体育館温水プール
延べ参加者数	1,050人	前年度延べ参加者数		266人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	630,000円	234,600円		320,000円	
【内容】					
泳力と泳法別にクラス分けを行い水泳を実施する教室。					
【結果】 募集定員（165人）応募者数（142人）延べ参加者数（1,050人）					
本年度はクラス数を昨年度から増やして実施し、参加者が昨年度の3倍以上となった。アンケートの結果から、回答者全員が満足、約90%の方が教室の内容について[良い]と回答しており、参加者の満足度は高く応募率も80%を超え安定していた。第3期はプール改修工事のため中止となった。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	<b>夜間水泳教室</b>				
開催時期	4～6月、7～9月、10～11月	回数	52回	会場	体育館温水プール
延べ参加者数	432人	前年度延べ参加者数		239人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	600,000円	109,184円		167,900円	
【内容】					
泳力と泳法別にクラス分けを行い水泳を実施する夜間の教室。					
【結果】 募集定員（90人）応募者数（83人）延べ参加者数（432人）					
本年度は昨年度同様、3期の教室開催をすることができた。参加者からも満足度が高い評価を受けているが運動強度としてはきついの回答もいただいており参加者すべてが同メニューで受講してもらうことに課題がある。第4期は、プール改修工事のため中止となった。※応募率は、約92%で高い評価を受けていた。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	<b>水中ウォーキング教室</b>				
開催時期	4～6月、9～11月	回数	38回	会場	体育館温水プール
延べ参加者数	359人	前年度延べ参加者数		133人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	432,000円	118,308円		107,000円	
【内容】					
主に中高年層を対象に健康増進や障害予防のための水中ウォーキングを指導する教室。					
【結果】 募集定員（60人）応募者数（46人）延べ参加者数（359人）					
昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響でクラス・定員とも減らして開催したが、本年度は定員を昨年度から増やして再開した結果、定数には満たなかったが参加者数は大幅に増やすことができた。募集定員に対して応募が77%、昨年度より募集および応募とも増えてきており、アンケートの結果では、約92%の方が満足、約80%の方がちょうど良いと回答していた。第3期は、プール改修工事のため中止となった。					

<②教室事業（一般）>

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	アクアエアロビクス教室				
開催時期	9～11月	回数	10回	会場	体育館温水プール
延べ参加者数	119人	前年度延べ参加者数		中止	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	216,000円	51,428円		45,000円	
【内容】					
温水プールを利用し、健康増進のためエアロビクスを指導する教室。					
【結果】 募集定員（15人）応募者数（21人）延べ参加者数（119人）					
昨年度はコロナ禍により全行程中止としたが、本年度は1回(2期)の開催となった。アンケートの結果から、約92%の方が満足、約85%の方が教室の内容について[良い]と回答しておりコロナの影響が落ち着いた今、参加者数は回復していくことが期待できる。第1期はコロナ感染者が増えたため、第3期はプール改修工事のため中止となった。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	夜間アクアエアロビクス教室				
開催時期	7～9月、10～11月	回数	15回	会場	体育館温水プール
延べ参加者数	169人	前年度延べ参加者数		15人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	240,000円	77,028円		65,100円	
【内容】					
温水プールを利用し、健康増進のために夜間にエアロビクスを指導する教室。					
【結果】 募集定員（30人）応募者数（32人）延べ参加者数（169人）					
前半は、新型コロナウイルス感染症の影響で自粛したが5類感染症に移行したことで通常開催とした。今後は、コロナの影響は減少し、参加者は回復していくことが期待できる。第1期はコロナ感染者が増えたため、第4期はプール改修工事のため中止となった。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	ストレッチ&筋トレ教室				
開催時期	4～6月、7～9月、10～12月、1～3月	回数	215回	会場	体育館会議室ほか
延べ参加者数	2,795人	前年度延べ参加者数		2,091人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	2,160,000円	1,882,327円		1,976,400円	
【内容】					
中高年を対象にストレッチ、筋トレの指導を行う。					
【結果】 募集定員（560人）応募者数（493人）延べ参加者数（2,795人）					
フィットネスの中で教室数、定員とも最も多く、本年度は、定員を昨年度から増やし実施した結果、応募率は下がったものの参加者、収入とも増加した。ただ、開催曜日により実施回数も異なるため各教室の回数の違いに課題がある。アンケートの結果では、約94%の方が満足と回答し約82%が教室の内容について良いとしており、人気の高い教室である。					

<②教室事業（一般）>

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	バランスボール教室				
開催時期	4～6月、7～9月、10～12月、1～3月	回数	137回	会場	体育館会議室ほか
延べ参加者数	1,467人	前年度延べ参加者数		1,318人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	960,000円	713,944円		1,037,400円	
【内容】					
中高年を対象にバランスボールエクササイズの指導を行った。					
【結果】 募集定員（320人）応募者数（209人）延べ参加者数（1,467人）					
教室定員を昨年度から増やして募集したが応募者が少なかった。参加者は昨年度と同数となり受講率は上がり実施回数も昨年度より多く開催でき収入も増加した。アンケートの結果から、約97%の方が満足と回答していた。しかし、教室の内容（強度）については約47%の方が良いと回答した反面「きつい」も同等数あった。約88%の参加者から体の改善があったと回答があり高い効果が出ている教室である。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	はじめてのピラティス教室				
開催時期	4～6月、7～9月、10～12月、1～3月	回数	107回	会場	体育館会議室ほか
延べ参加者数	1,418人	前年度延べ参加者数		1,125人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	720,000円	563,356円		1,033,800円	
【内容】					
中高年を対象にピラティスの指導を行った。					
【結果】 募集定員（240人）応募者数（235人）延べ参加者数（1,418人）					
教室定員および開催回数を増やし実施したことで参加者・収入とも増加となった。アンケートの結果から、回答者全員が満足と回答しており、高い評価を受けていた。応募率も約97%あり、身体の改善があったと約83%の参加者からの回答もあり高い効果が出た教室である。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	はじめてのヨガ教室				
開催時期	4～6月、7～9月、10～12月、1～3月	回数	72回	会場	体育館会議室ほか
延べ参加者数	1,133人	前年度延べ参加者数		846人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	480,000円	435,925円		803,400円	
【内容】					
中高年を対象にヨガの指導を行った。					
【結果】 募集定員（160人）応募者数（159人）延べ参加者数（1,133人）					
教室定員をコロナ禍前に戻して実施し、募集定員とほぼ同数の応募があった。ただ、応募数は昨年比約90%と落ち込んでいた。アンケートの結果では、約90%の方が満足していると回答しており、参加者から高い評価を受けている教室である。					

<②教室事業（一般）>

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	エアロビクス教室				
開催時期	4～6月、7～9月、10～12月、1～3月	回数	62回	会場	体育館会議室ほか
延べ参加者数	818人	前年度延べ参加者数		755人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	480,000円	331,156円		606,600円	
【内容】					
中高年を対象にエアロビクスの指導を行った。					
【結果】 募集定員（200人）応募者数（142人）延べ参加者数（818人）					
実施計画および実績は昨年度同様となる。アンケートの結果から、回答者全員が満足、約86%の方が教室の内容について[良い]と回答しており、参加者のニーズにあった教室であるが応募者が少なく目標には達しなかった。※応募率は約72%と応募率80%を達成できなかった。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	卓球教室				
開催時期	11～12月、1～3月	回数	97回	会場	体育館主競技場
延べ参加者数	1,259人	前年度延べ参加者数		306人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,920,000円	306,108円		582,000円	
【内容】					
参加者のレベルに合わせた卓球の指導を行う教室。					
【結果】 募集定員（280人）応募者数（231人）延べ参加人数（1,259人）					
教室定員および開催回数を増やし実施したことで参加者・収入とも大幅な増加となった。アンケートの結果から、約88%の方が満足、約83%の方が教室の内容について良いと回答しており、充実感を感じている参加者が多い教室である。第3期中級A教室が募集人数が少なく中止となった。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	バドミントン教室				
開催時期	9～11月	回数	10回	会場	体育館補助競技場
延べ参加者数	119人	前年度延べ参加者数		中止	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	360,000円	110,628円		90,000円	
【内容】					
参加者のレベルに合わせてバドミンントンの指導を行った。					
【結果】 募集定員（30人）応募者数（16人）延べ参加人数（119人）					
昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催ができなかったが、本年度は教室を再開することができた。応募人数に対し半数程度の受講になったが、アンケートの結果から、約90%の方が満足していると回答を得られた。					

<②教室事業（一般）>

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	健康ダイエット事業				
開催時期	6月～10月、11月～2月	回数	30回	会場	体育館ほか
延べ参加者数	196人	前年度延べ参加者数		198人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	300,000円	204,872円		250,000円	
【内容】					
メタボリックシンドロームの罹患率が高い中年男性の肥満者を対象として、医療費の削減に繋がる健康づくりを目的としたダイエットの運動指導と栄養指導を行った。					
【結果】 募集定員（10人×1コース×2期） 応募者数（17人） 参加者数（16人） 延べ参加者数（196人）					
体組成測定機器を用いた測定や個々に合わせた指導を行ったことにより、「モチベーション維持につながった」「ダイエットに成功した」という感想があった。また、事業をとおして多くの参加者の体重や体脂肪率が減少し、血糖値の改善や高血圧の改善など、参加者の健康維持につながり満足度が非常に高い事業となった。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	愛媛大学社会共創学部スポーツ協働事業（愛大連携事業）				
開催時期	7月19日（水）、10月9日（月祝）ほか	回数	1回	会場	体育館
延べ参加者数	944人	前年度延べ参加者数		90人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	240,000円	88,712円		16,000円	
【内容】					
本年度は新たな連携のテーマを「サルコペニア予防・改善」とし愛媛大学社会共創学部と協働で、体組成計を用いた身体測定を毎月実施するとともに、「サルコペニア予防運動教室」を開催した。サルコペニア…筋肉量が減少することにより身体機能が低下し寝たきりなどの原因となる疾病					
【結果】 募集定員（10人） 応募者数（16人） 参加者数（16人） 延べ参加者数（944人）					
サルコペニア予防運動教室はスポーツの日に開催し、財団の健康運動指導士指導のもと、市民の健康づくりの意識を向上させる教室を行った。7月から毎月行ったサルコペニア予防測定会は、約1,000人の参加者があり、日頃の運動習慣を市民に意識付けさせることができた。また、取得したデータを元に愛媛大学と共同で日本体育測定評価学会に研究発表を行った。					

施設名	松山中央公園				
事業名	テニス教室				
開催時期	通年	回数	235回	会場	テニスコートほか
延べ参加者数	3,106人	前年度延べ参加者数		2,801人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	4,267,000円	3,184,112円		3,215,000円	
【内容】					
初心者コースではラケットの握り方から始め、ストロークやサーブ、ボレー等の基本技術の指導を行った。経験者コースでは基本技術をさらに磨きながら、試合形式での実戦練習をとおしてより高度なテクニクの指導を行った。					
【結果】 募集定員（15人×6コース×12期） 応募者数（1,014人） 参加者数（940人） 延べ参加者数（3,106人）					
応募者数は1,014人、参加者数は940人、延べ参加者数は3,106人となった。初心者向けコースでは、テニスの初歩から指導し、経験者向けコースでは試合等の実践を交えてそれぞれの参加者のレベルに合わせた適切な指導をおこなった。その結果、参加者にテニスの楽しさ・やりがいを伝えることができた教室となった。今後も内容の充実を図りながら、生涯スポーツとしてテニスの魅力を発信していく。					



<②教室事業（一般）>

施設名	松山中央公園				
事業名	フィットネス教室				
開催時期	通年	回数	80回	会場	スポーツフロア
延べ参加者数	1,730人	前年度延べ参加者数		1,050人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,008,000円	726,605円		1,242,000円	
【内容】					
体力レベルに合わせて自宅でも簡単に実践できるフィットネス指導を行った。					
【結果】 募集定員（25人×2コース×4期） 応募者数（214人） 参加者数（207人） 延べ参加者数（1,730人）					
<p>応募者数は214人、参加者数は207人、延べ参加者数は1,730人となった。1人ではなかなか継続や実践が難しいフィットネスを、ともに参加する方々との的確な指導をおこなう講師のもと実施できる教室となった。教室で学んだことを家でも実践してもらうことで、まさにフィットネスの土台作りといえる教室となった。</p>					

施設名	松山中央公園				
事業名	アクアチャレンジクラブ				
開催時期	10月～3月	回数	280回	会場	アクアパレット
延べ参加者数	2,945人	前年度延べ参加者数		2,288人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	5,030,000円	5,357,148円		678,000円	
【内容】					
水泳をつうじてスポーツと健康増進の関心を高めるとともにプールの利用促進を図るため、初心者から上級者までの水泳指導や水中運動指導などを行った。					
【結果】 募集定員（25人×14コース×2期） 応募者数（372人） 参加者数（355人） 延べ参加者数（2,945人）					
<p>応募者数は372人、参加者数は355人、延べ参加者数は2,945人となった。閑散期のプール稼働率の上昇に貢献する教室となった。水泳教室のみならず水中でのエアロビクスやウォーキング等のバラエティーに富んだ教室を実施することで、スポーツと健康増進への関心を高めた。今後も内容の充実を図りながら、水が持つ「浮力」「抵抗」「水温」「水圧」の4つの特性を活かした運動を提供する内容で継続して実施する。</p>					

施設名	松山中央公園				
事業名	のびのびストレッチとらくらく筋トレ教室				
開催時期	通年	回数	80回	会場	スポーツフロア
延べ参加者数	1,399人	前年度延べ参加者数		1,086人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,008,000円	588,103円		984,000円	
【内容】					
初心者でも始めやすい簡単なストレッチと筋トレの指導を行った。					
【結果】 募集定員（25人×2コース×4期） 応募者数（172人） 参加者数（164人） 延べ参加者数（1,399人）					
<p>応募者数は172人、参加者数は164人、延べ参加者数は1,399人となった。この教室での運動を日常生活での運動として習慣化している方も多く、運動への関心の刺激と習慣化を図ることができている教室となった。今後も市民の健康維持・増進を目的とした内容で継続して実施する。</p>					

<②教室事業（一般）>

施設名	松山中央公園				
事業名	いきいきピラティスでめざせ美ボディ教室				
開催時期	通年	回数	120回	会場	スポーツフロア
延べ参加者数	2,411人	前年度延べ参加者数		1,831人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,457,000円	1,379,008円		1,656,000円	
【内容】					
元々リハビリ用で誰でも安全に行うことができるピラティスの指導を行い、インナーマッスルにアプローチをかけて体の内側から健康的な体を作ることを目指した。					
【結果】 募集定員（25人×3コース×4期） 応募者数（242人） 参加者数（234人） 延べ参加者数（2,411人）					
応募者数は242人、参加者数は234人、延べ参加者数は2,411人となった。ピラティスをつうじて肩こりや腰痛へアプローチをし、普段の生活を楽にする健康的な体作りを始めるきっかけを提供した。今後も市民の健康維持・増進を目的とした内容で継続して実施する。					

施設名	松山中央公園				
事業名	はじめてのフィットネス教室				
開催時期	6月	回数	1回	会場	スポーツフロア
延べ参加者数	26人	前年度延べ参加者数		39人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	54,000円	13,102円		15,600円	
【内容】					
運動を始めたいがきっかけが少ない方が気軽に運動に触れる機会を提供し、日々の生活に運動を取り入れ、健康的な生活を始めるきっかけを創出した。					
【結果】 募集定員（25人×2コース×1期） 応募者数（29人） 参加者数（26人） 延べ参加者数（26人）					
応募者数・参加者数ともに去年より減少する結果となってしまった。しかし教室参加経験の有無を問わず、好評の声が多数あった。運動や教室参加へのきっかけづくりはもちろん、教室参加経験のある方にとっても改めて自分と向き合える機会を提供できた教室となった。今後も新規受講者獲得を目的とした内容で継続して実施する。					

施設名	北条スポーツセンター・北条体育館				
事業名	風早元気教室				
開催時期	通年	回数	32回	会場	体育館
延べ参加者数	400人	前年度延べ参加者数		282人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	509,000円	217,393円		273,600円	
【内容】					
高齢者を対象としたストレッチ等の介護予防体操やさまざまな軽スポーツを行う運動教室					
【結果】 募集定員（20人×1コース×5期） 応募者数（73人） 参加者数（71人） 延べ参加者数（400人）					
応募者数は73人(対前年度比+16人)、参加者数は71人(対前年度比+18人)、延べ参加者数は400人(対前年度比+118人)となった。参加者数は対前年度比134%と増加しており、応募率は平均73%であった。アンケートによると73%が「満足」と答え年間を通して91%が継続して参加しており、高齢者に健康への意識付けや運動習慣の促進に貢献している事業となった。					

<②教室事業（一般）>

施設名	北条スポーツセンター・北条体育館				
事業名	フィットネス教室				
開催時期	通年	回数	96回	会場	体育館
延べ参加者数	2,142人	前年度延べ参加者数		1,507人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,435,000円	977,011円		1,446,000円	
【内容】					
18歳以上を対象としたピラティスやヨガ、エアロビクスなどのフィットネス教室					
【結果】 募集定員（20人×3コース×5期） 応募者数（442人） 参加者数（379人） 延べ参加者数（2,142人）					
<p>応募者数は442人(対前年度比+116人)、参加者数は379人(対前年度比+69人)、延べ参加者数は2,142人(対前年度比+635人)となった。参加者数はあおぞらフィットネスの雨天中止にもかかわらず対前年度比122%と増加しており、応募率は平均147%であった。アンケートによると80%が「満足」と答え、年間を通して92%が継続して参加しており、市民に健康への意識付けや運動習慣の促進に貢献している事業となった。</p>					

施設名	北条スポーツセンター・北条体育館				
事業名	成人スポーツ教室				
開催時期	通年	回数	34回	会場	体育館
延べ参加者数	234人	前年度延べ参加者数		336人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	509,000円	242,848円		195,600円	
【内容】					
18歳以上を対象とした初心者向けのバドミントンなどのスポーツ教室					
【結果】 募集定員（20人×1コース×5期） 応募者数（50人） 参加者数（48人） 延べ参加者数（234人）					
<p>応募者数は50人(対前年度比-23人)、参加者数は48人(対前年度比-22人)、延べ参加者数は234人(対前年度比-102人)となった。参加者数は対前年度比69.6%と大幅に減少しており、応募率は平均50%であった。アンケートによると93%が「満足」と答え、年間を通して75%が継続して参加しており、市民に健康への意識付けや運動習慣の促進に貢献している事業となった。</p>					

施設名	複数の施設を利用する教室事業				
事業名	ランニング事業				
開催時期	通年	回数	80回	会場	コミセン・中央公園
延べ参加者数	2,015人	前年度延べ参加者数		1,209人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	2,400,000円	1,215,687円		1,728,000円	
【内容】					
ジョギング初心者からフルマラソンでの自己記録更新を目標としたグループで、ペース走を行うジョギング教室を実施した。					
【結果】 募集定員（100人×4期） 応募者数（297人） 参加者数（288人） 延べ参加者数（2,015人）					
<p>走力別にグループ分けを行い、それぞれ指導員を配置することで参加者に対してきめ細かいアドバイスを行った。参加者同士で県内外のマラソン大会にエントリーするなど、「走る楽しみ」に加え、「仲間との交流を楽しむ」という付加価値も提供することができた。</p>					

## ② 教室事業（親子）

○親子でスポーツに触れ、体験し、共にスポーツ活動への関心や楽しさを広めて行くことを目的とする。

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	親子水泳教室				
開催時期	4月～5月、10月～11月	回数	10回	会場	体育館温水プール
延べ参加者数	132人	前年度延べ参加者数		20人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	540,000円	39,584円		27,000円	
【内容】					
未就学児と保護者を対象に親子で楽しみながら水泳を習得する教室。					
【結果】募集定員（20人）応募者数（41人）延べ参加人数（132人）					
アンケートの結果から、回答者全員が教室の内容について[良い]・[やや良い]と回答しており、参加者にとって非常に満足度の高い教室であるといえる。応募率が200%を超えており、問い合わせ等も増えているので、コースを増やしていくことも考える必要がある。					

## ② 教室事業（子ども）

○小・中学生を対象としたスポーツ教室で、幼少期からスポーツ活動への関心を高めることを目的とする。

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	キッズスポーツプロジェクト「キッズコーディネーション教室」				
開催時期	4～6月、10～12月	回数	20回	会場	体育館補助競技場
延べ参加者数	中止	前年度延べ参加者数		206人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	240,000円	0円		0円	
【内容】					
プレ・ゴールデンエイジの小学1～3年生を対象にした運動能力の向上をさせるトレーニング教室。					
【結果】募集定員（40人）					
第1期を講師の都合で休講したため、その影響で第2期以降も応募者数が伸び悩み中止とした。来年度は第1期からの実施が可能なので例年どおり開催する予定である。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	キッズスポーツプロジェクト「キッズスイミング教室」				
開催時期	7～8月	回数	20回	会場	体育館温水プール
延べ参加者数	168人	前年度延べ参加者数		中止	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	200,000円	82,016円		100,000円	
【内容】					
小学4～6年生の泳げない児童を対象に25mを泳ぐことができるようになることを目的とした教室。					
【結果】募集定員（20人）応募者数（36人）延べ参加人数（168人）					
アンケートの結果から、回答者全員が教室の内容について[良い]・[やや良い]と回答しており、参加した子どもたちにとって非常に満足度の高い教室であるといえる。関心も非常に高く問い合わせも増えている。小学生対象で時間帯の問題もあるが年間をとって開催回数を増やすことも検討したい。					

<②教室事業（子ども）>

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	キッズスポーツプロジェクト「夏休みキッズバスケットボール教室」				
開催時期	1～2月	回数	3回	会場	体育館補助競技場
延べ参加者数	64人	前年度延べ参加者数		16人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	48,000円	32,688円		41,400円	
【内容】					
バスケットボール未経験の小学生を対象にした夏休みに行うバスケットボール教室。					
【結果】募集定員（40人）応募者数（29人）延べ参加人数（64人）					
アンケートの結果から、回答者全員が教室の内容について[良い]・[やや良い]と回答しており参加した子どもたちにとって非常に満足度の高い教室であった。定期開催や3カ月開催などを求める声も多いが、指導を社会人バスケットボールチームに依頼しておりスケジュール調整が必要である。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	キッズスポーツプロジェクト「キッズバドミントン教室」				
開催時期	8月	回数	2回	会場	体育館補助競技場
延べ参加者数	71人	前年度延べ参加者数		45人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	288,000円	39,512円		45,600円	
【内容】					
スポーツ経験のない小学生を対象としたバドミントン教室。					
【結果】募集定員（40人）応募者数（58人）延べ参加人数（71人）					
アンケートの結果から、回答者のほとんどが教室の内容について[良い]・[やや良い]と回答しており参加した子どもたちにとって非常に満足度の高い教室であった。応募率は145%と非常に高かった。バドミントンに興味をもつきっかけになっている。回数を増やしてほしいとの要望もあり、検討していく必要がある。					

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	キッズスポーツプロジェクト「キッズ体操教室」				
開催時期	2月25日(日)	回数	1回	会場	体育館補助競技場
延べ参加者数	8人	前年度延べ参加者数		17人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	24,000円	4,236円		4,800円	
【内容】					
体操競技経験のない小学生を対象とした体操競技体験教室。					
【結果】募集定員（40人）応募者数（11人）延べ参加人数（8人）					
アンケートの結果から、回答者全員が教室の内容について[良い]・[やや良い]と回答しており参加した子どもたちにとって非常に満足度の高い教室であった。応募率は28%だったが、参加者の満足度は高く、愛媛県体操協会からも継続を要望されているので、今後も開催を検討したい。					

<②教室事業（子ども）>

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	キッズスポーツプロジェクト「キッズ卓球教室」				
開催時期	12～2月	回数	10回	会場	体育館補助競技場
延べ参加者数	121人	前年度延べ参加者数		92人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	240,000円	76,052円		78,000円	
【内容】					
卓球経験のない小学生を対象とした卓球教室。					
【結果】 募集定員（40人）応募者数（14人）延べ参加人数（121人）					
アンケートの結果から、教室内容については[良い]・[普通]の回答が多い。応募率は35%と低くなっていたが、本年度から定員を増やした影響があると思われる。出席率は93%で、興味を持って参加していただけでいた。卓球に興味をもつきっかけになっている。					

施設名	松山中央公園				
事業名	キッズスポーツプロジェクト「キッズコーディネーション教室」				
開催時期	通年	回数	80回	会場	スポーツフロアほか
延べ参加者数	1,685人	前年度延べ参加者数		1,343人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,590,000円	1,074,074円		1,158,000円	
【内容】					
神経の発達最も伸びる時期にある小学1～4年生を対象に、運動能力が向上するトレーニングとして、近年アスリートにも取り入れられているコーディネーショントレーニングの指導を行った。					
【結果】 募集定員（25人×2コース×4期）応募者数（199人）参加者数（193人）延べ参加者数（1,685人）					
応募者数は199人、参加者数は193人、延べ参加者数は1,685人となった。スポーツフロアやテニスコートの施設を存分に使用し、子どもたちにコーディネーショントレーニングを実施した。また、サッカーやテニスなどのスポーツに触れる機会を提供し、運動に対する興味を刺激する役割も果たした。					

施設名	松山中央公園				
事業名	キッズスポーツプロジェクト「キッズアクアチャレンジ」				
開催時期	11月	回数	4回	会場	アクアパレット
延べ参加者数	22人	前年度延べ参加者数		20人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	380,000円	17,304円		14,400円	
【内容】					
水に対して恐怖心があり泳ぐことが苦手な児童を対象に、まず簡単な水中レクリエーションで水に慣れることから始め、息継ぎやバタ足等の水中での体の使い方を指導することで基礎的な泳力の定着を図った。					
【結果】 募集定員（10人×1コース×1期） 応募者数（7人） 参加者数（6人） 延べ参加者数（22人）					
応募者数7人、参加者数6人、延べ参加者は22人となった。トップレベルの講師の指導をより深く体感する機会を提供できた。様々な泳力を持つ子どもの参加があったが適切な指導とサポートによりレベルに合った指導ができた。今後も子どもとスポーツの出会いを創出し、将来のスポーツ人口の増加を目的とした内容で継続して実施する。					

<②教室事業（子ども）>

施設名	松山中央公園				
事業名	キッズスポーツプロジェクト「キッズテニス教室」				
開催時期	8月、11月	回数	5回	会場	テニスコート他
延べ参加者数	74人	前年度延べ参加者数		205人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,587,000円	99,768円		49,800円	
【内容】					
テニス初心者、もしくはテニス経験が浅い児童を対象にラケットの握り方やストローク等の基本動作の指導を行った。					
【結果】 募集定員（30人×1コース×2期） 応募者数（42人） 参加者数（38人） 延べ参加者数（74人）					
応募者数は42人・参加者数は38人・延べ参加者数は74人となった。特に熱中症の心配がある8月開催時は、定員30人に対し、15人の応募と前年比に比べて参加者が大きく減少する結果となってしまった。今後は安全面に配慮した日程の調整や、冷暖房完備の施設での教室実施を検討していく。					

施設名	松山中央公園				
事業名	キッズスポーツプロジェクト「キッズかけっこ教室」				
開催時期	8月	回数	4回	会場	屋内運動場
延べ参加者数	82人	前年度延べ参加者数		99人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	727,000円	49,824円		49,200円	
【内容】					
基本姿勢やフォーム、バランス、リズム等の速く走るコツを指導した。					
【結果】 募集定員（30人×2コース×1期） 応募者数（46人） 参加者数（41人） 延べ参加者数（82人）					
応募者数46人、参加者数41人、延べ参加者は82人となった。今年度から低学年・高学年コースと分けて行った。これにより極端に指導内容に差が出ないようにし、子どもたちの負担を減らすことができた。短期集中型の教室だが、タイム計測等をおこない、成果を可視化できるようにした。今後も子どもたちの体力や運動能力向上を目的とした内容で継続して実施する。					

施設名	松山中央公園				
事業名	キッズスポーツプロジェクト「キッズスポーツ体験教室」				
開催時期	12月26日（火）、28日（木）、2月4日（日）	回数	4回	会場	屋内運動場・屋内練習場
延べ参加者数	64人	前年度延べ参加者数		52人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	888,000円	110,123円		39,000円	
【内容】					
サッカー初心者、もしくは経験が浅い女子児童を対象に、ドリブル・パス・シュートなどの基本動作の指導をおこなう教室と野球初心者、もしくは経験が浅い児童を対象に、「投げる」「打つ」「捕る」などの基本動作の指導を行う教室を実施した。					
【結果】 募集定員（30人×1コース×2期） 応募者数（45人） 参加者数（37人） 延べ参加者数（64人）					
応募者数は45人、参加者数は37人、延べ参加者数は64人となった。プロスポーツチームの選手に講師として来ていただいた。子どもたちにプロのプレーを肌で感じてもらい、時にはともにプレーをし、充実した時間を共有することができた教室となった。今後もプロスポーツ選手と間近で触れ合うことのできる貴重な教室として継続して実施する。					

<②教室事業（子ども）>

施設名	松山中央公園				
事業名	【新規事業】アクティブチャイルドプログラム（愛大連携事業）				
開催時期	9月17日（日）	回数	1回	会場	屋内運動場
延べ参加者数	143人	前年度延べ参加者数		—	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	60,000円	89,760円		28,600円	
【内容】					
愛媛大学と連携して日本スポーツ協会が監修した「子どもが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動き」を習得するための運動プログラムの教室を実施した。					
【結果】 募集定員（100） 応募者数（270人） 参加者数（143人） 延べ参加者数（143人）					
財団と大学が協力して企画立案し、学生が直接児童に指導をする機会を創出したことで、将来の教員、スポーツ指導者を目指す人材育成の一助を担う事業となった。また財団は大学の知を活用し、新たな発想での事業創造につながった。定員の3倍の申し込みがあり、2部構成とすることでできるだけ多くの小学生に参加していただいた。					

施設名	北条スポーツセンター・北条体育館				
事業名	キッズスポーツプロジェクト「キッズテニス教室」				
開催時期	通年	回数	68回	会場	体育館
延べ参加者数	793人	前年度延べ参加者数		790人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,340,000円	602,052円		523,800円	
【内容】					
小学生を対象としたテニス教室。					
【結果】 募集定員（30人×2コース×5期） 応募者数（135人） 参加者数（127人） 延べ参加者数（793人）					
応募者数は135人(対前年度比+2人)、参加者数は127人(対前年度比-2人)、延べ参加者数は793人(対前年度比+3人)となった。参加者数は対前年度比98%とほぼ横ばいであり、応募率は平均45%であった。アンケートによると76%が「良い」と答え、参加者の内98%が松山市北部地域の在住の小学生であることから、地域におけるスポーツ活動のすそ野拡大に貢献している事業となった。					

施設名	北条スポーツセンター・北条体育館				
事業名	キッズスポーツプロジェクト「キッズバドミントン教室」				
開催時期	通年	回数	36回	会場	体育館
延べ参加者数	688人	前年度延べ参加者数		790人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	745,000円	354,734円		460,200円	
【内容】					
小学生を対象としたバドミントン教室。					
【結果】 募集定員（30人×1コース×5期） 応募者数（116人） 参加者数（106人） 延べ参加者数（688人）					
応募者数は116人(対前年度比-16人)、参加者数は106人(対前年度比-19人)、延べ参加者数は688人(対前年度比-102人)となった。参加者数は対前年度比85%とやや減少しており応募率は平均77%であった。アンケートによると74%が「良い」と答え、参加者の内96%が松山市北部地域の在住の小学生であることから地域におけるスポーツ活動のすそ野拡大に貢献している事業となった。					



<②教室事業（子ども）>

施設名	北条スポーツセンター・北条体育館				
事業名	キッズスポーツプロジェクト「キッズスポーツアカデミー」				
開催時期	通年	回数	25回	会場	体育館
延べ参加者数	466人	前年度延べ参加者数		441人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	275,000円	321,184円		301,800円	
【内容】					
小学生を対象とした運動能力向上教室。					
【結果】 募集定員（20人×1コース×5期） 応募者数（108人） 参加者数（101人） 延べ参加者数（466人）					
<p>応募者数は108人(対前年度比-2人)、参加者数は101人(対前年度比+2人)、延べ参加者数は466人(対前年度比+25人)となった。参加者数は対前年度比102%と微増であり、応募率は平均108%であった。アンケートによると90%が「良い」と答え、参加者の内96%が松山市北部地域の在住の小学生であることから、地域におけるスポーツ活動のすそ野拡大に貢献している事業となった。</p>					

施設名	北条スポーツセンター・北条体育館				
事業名	キッズサッカー教室				
開催時期	4月2日（日）、8月29日（火）	回数	2回	会場	体育館・陸上競技場
延べ参加者数	72人	前年度延べ参加者数		85人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	64,000円	21,904円		7,200円	
【内容】					
小学生を対象とした初心者向けのサッカー教室。					
【結果】 募集定員（20人×1コース×2期） 応募者数（77人） 参加者数（72人） 延べ参加者数（72人）					
<p>1回目はフットサル場の人工芝張替えに伴うリニューアルオープンを記念して、四国フットサル連盟と連携し、「四国ガールズ&amp;レディースフットサルフェスタ2023in愛媛」と銘打って開催した。応募者数は2回合計で77人(対前年度比+1人)、参加者数は72人(対前年度比+8人)、応募率は113%であった。松山市北部地域のスポーツ拠点としてスポーツ活動のすそ野拡大に貢献している事業となった。</p>					

施設名	北条スポーツセンター・北条体育館				
事業名	キッズかけっこ教室				
開催時期	8月16日（水）	回数	1回	会場	陸上競技場
延べ参加者数	35人	前年度延べ参加者数		57人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	168,000円	25,920円		21,000円	
【内容】					
小学生を対象としたかけっこ教室。					
【結果】 募集定員（50人×1コース×1期） 応募者数（41人） 参加者数（35人） 延べ参加者数（35人）					
<p>応募者数は41人(対前年度比-72人)、参加者数は35人(対前年度比-22人)、参加者数は対前年度比61%と大幅な減少となり、応募率は82%であった。アンケートによると76%が「良い」と答え、参加者の内78%が松山市北部地域の在住の小学生であることから、地域におけるスポーツ活動のすそ野拡大に貢献している事業となった。</p>					

<②教室事業（子ども）>

施設名	北条スポーツセンター・北条体育館				
事業名	キッズ野球体験会				
開催時期	10月9日（月祝）	回数	1回	会場	野球場
延べ参加者数	12人	前年度延べ参加者数		22人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	64,000円	2,784円		7,200円	
【内容】					
小学生を対象とした初心者向けの野球教室。					
【結果】 募集定員（30人×1コース×2期） 応募者数（32人） 参加者数（12人） 延べ参加者数（12人）					
当初小学生を対象として8月の開催を予定していたが台風接近のため中止となり女子野球教室と内容を変更し10月9日実施した。応募者数は中止となった1回目と合わせて32人（対前年度比+9人）、参加者数は12人（対前年度比-10人）、参加者数は対前年度比55%と大幅な減少となり応募率は53%であった。松山市北部地域のスポーツ拠点としてスポーツ活動のすそ野拡大に貢献している事業となった。					

施設名	北条スポーツセンター・北条体育館				
事業名	キッズ走り方教室				
開催時期	通年	回数	33回	会場	体育館
延べ参加者数	382人	前年度延べ参加者数		541人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	699,000円	296,244円		246,000円	
【内容】					
小学生を対象とした運動能力向上教室。					
【結果】 募集定員（30人×1コース×5期） 応募者数（69人） 参加者数（63人） 延べ参加者数（382人）					
応募者数は69人（対前年比-51人）、参加者数は63人（対前年比-44人）、延べ参加者数は382人（対前年比-159人）、参加者数は対前年度比59%と大幅な減少となり、応募率は平均46%であった。アンケートによると86%が「良い」と答え、参加者の内99%が松山市北部地域の在住の小学生であることから、地域におけるスポーツ活動のすそ野拡大に貢献している事業となった。					

施設名	複数の施設を利用する教室事業				
事業名	キッズチャレンジ				
開催時期	通年	回数	40回	会場	中央公園
延べ参加者数	1,108人	前年度延べ参加者数		857人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	360,000円	573,823円		750,000円	
【内容】					
「5時間リレーマラソン」「マツヤマお城下リレーマラソン」「坊っちゃんランランラン」等の大会出場を目指し、小学生を対象としたジョギング教室を実施した。					
【結果】 募集定員（15人×1コース×4期） 応募者数（130人） 参加者数（125人） 延べ参加者数（1,108人）					
教室に参加することで、走ることが苦手だった子どもが走るフォームがきれいになったり、学校内の持久走大会で学年1位になるなど、目に見える結果が表れ参加者の満足度も高く、保護者からも好評であった。					

<②教室事業（子ども）>

施設名	北条スポーツセンター・北条体育館				
事業名	【新規事業】パラスポーツ体験会				
開催時期	8月3日（木）	回数	1回	会場	北条スポーツセンター
延べ参加者数	23人	前年度延べ参加者数		—	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	120,000円	114,244円		6,659円	
【内容】					
<p>聖カタリナ大学と協働でパラスポーツの競技やルールを学ぶ体験会と保護者を対象とした各障がいの理解やスポーツとの関わり方を学ぶ講座を開催した。</p>					
【結果】 募集定員（20人） 応募者数（24人） 参加者数（23人） 延べ参加者数（23人）					
<p>ポッチャと車いすバスケットボールの競技体験に加え、聖カタリナ大学助教による「アダプテッドスポーツについて」の保護者対象講座を実施した。聖カタリナ大学健康スポーツ学科の学生が考案した内容で運営したことで将来パラスポーツ指導員資格取得を目指す学生にとって有益な実習の場を創出することができた。</p> <p>*アダプテッドスポーツ…年齢・体力にかかわらず参加できるようルールや用具を工夫したスポーツ</p>					

③ 地域スポーツ振興事業

加盟団体（地域体育協会）がコミュニティスポーツの普及・振興を図るために実施するスポーツ振興事業に対して支援を行い、市民がスポーツに親しむ機会の充実を図る。

施設名					
事業名	地域スポーツ振興事業				
開催時期	通年	回数	—	会場	—
支援団体数	31団体	前年度申請団体		28団体	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	5,250,000円	4,143,093円		—	
【内容】					
<p>コミュニティスポーツの普及・振興を図るため、スポーツ団体振興協議会の加盟団体である地域体育協会が実施する各種スポーツ大会などのスポーツ振興事業に対して支援を行った。</p>					
【結果】					
<p>地域体育協会31団体が開催したグラウンドゴルフやソフトボールのスポーツ大会などに補助金を交付した。子どもから高齢者まで幅広い世代が参加する地域のスポーツ事業に欠かせない支援事業となった。</p>					

④ 生涯スポーツ振興助成事業

スポーツ人口の増加や市民の健康増進に向け、幅広い世代を対象にスポーツを生活の一部に取り込むきっかけづくりに努めた種目団体を支援する。

施設名					
事業名	生涯スポーツ振興助成事業				
開催時期	通年	回数	—	会場	—
支援団体数	6団体	前年度申請団体数		7団体	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	800,000円	456,390円		—	
【内容】					
<p>スポーツ人口の増加や市民の健康増進を図るため、スポーツ団体振興協議会の加盟団体である各種目協会が幅広い世代を対象に実施した、スポーツをライフサイクルの一部として生涯関わりを持っていただくきっかけづくりとなる各種事業に対して支援を行った。</p>					
【結果】					
<p>種目協会6団体（カーリング・クレール射撃・水泳・陸上・スポーツチャンバラ・アクティブスポーツ）が実施した、ジュニア陸上競技教室やBMX体験アクティブスポーツフェスなどの生涯スポーツ振興事業に対して補助金を交付し、小学生から高齢者まで幅広いスポーツ活動を活性化した。</p>					

## ⑤ 大会助成事業

### <大会参加激励事業>

本市のスポーツ選手の育成を図るため、国民体育大会及び各種全国大会参加者に対し激励費を交付する。

### <スポーツ育成事業大会開催補助事業>

本市のスポーツの育成を図るため、松山市で開催する四国大会以上の大会に対し、開催補助金を交付する。

施設名					
事業名	国民スポーツ大会激励事業				
開催時期	通年	回数	－	会場	－
延べ参加者数	239人	前年度延べ参加者数		222人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,750,000円	1,195,000円		－	
【内容】	本市のスポーツの育成を図るため、国民スポーツ大会に愛媛県選手団として参加するチーム又は個人の監督・選手に対して激励費の支援を行った。				
【結果】	秋に開催された特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」では225名に、冬に開催された「第78回国民スポーツ大会冬季大会」では14名の監督・選手に対して補助金を交付し、松山市の国スポ選手の大会参加のサポートを行った。				

施設名					
事業名	全国大会参加激励事業				
開催時期	通年	回数	－	会場	－
延べ参加者数	327人	前年度延べ参加者数		254人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,750,000円	1,635,000円		－	
【内容】	本市のスポーツの育成を図るため、各種スポーツ全国大会に参加するチーム又は個人の監督・選手に対して激励費の支援を行った。				
【結果】	松山市ドッジボール協会が参加した「2023J.D.B.A全日本総合選手権」大会、他33団体へ補助金を交付し、加盟団体選手の全国大会出場のサポートを行うことで、競技力の向上の一助となった。				

施設名					
事業名	スポーツ育成事業大会開催補助事業				
開催時期	通年	回数	－	会場	－
延べ参加者数	140人	前年度延べ参加者数		－	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	0円	50,000円		－	
【内容】	本市のスポーツの育成を図るため、松山市で開催する四国大会以上の大会に対し、開催補助金の支援を行った。				
【結果】	松山市ソフトテニス連盟が主管として実施した「第48回四国レディースソフトテニス大会」に開催補助金を交付し、加盟団体が主催する大会へのサポートを行うことで、選手の負担金を少なくするなど、スポーツ活動の後押しを行った。				

## ⑥ 指導者・選手育成事業

### <加盟団体選手育成事業>

学校体育に係るジュニア世代の競技スポーツのレベルアップを図るため、小・中・高等学校体育連盟に対してスポーツ選手育成補助金を交付する。

### <種目団体育成事業>

本市のスポーツ団体の育成を支援し、地域スポーツの普及発展を図るため加盟種目団体が実施するスポーツ育成事業に対し補助金を交付する。

### <国体振興事業>

- ・県外で行われ、かつ宿泊を伴う合宿・遠征に対しての補助を行う。
- ・小中学生を対象とする大会を市内で開催した場合、経費の一部を補助する。
- ・審判員資格を取得する経費の一部を補助する。
- ・スポーツ少年団に属する指導者の資格取得に繋がる講習会の経費の一部を補助する。
- ・公認スポーツ指導者資格を取得する経費の一部を補助する。

施設名					
事業名	指導者・選手育成事業				
開催時期	通年	回数	－	会場	－
支援件数	79件	前年度申請団体数		63件	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	5,331,000円	3,497,970円		－	
【内容】					
ジュニア世代の競技スポーツのレベルアップや種目団体の育成強化を図るため、スポーツ団体振興協議会の加盟団体である学校体育連盟・種目団体が実施する各種事業や国体正式競技のジュニア大会を支援したほか、指導者や審判員の資格取得の支援を行った。					
【結果】					
学校体育連盟3団体、種目団体33団体、国体正式競技開催3団体及び公認スポーツ指導者及び審判資格取得者30人、スポーツ少年団指導者資格取得者10人について補助金を交付した。市内の有資格者、審判資格者を増加させることで、ジュニア選手の育成につながった。					

## ⑦ スポーツ活動の表彰事業

本市スポーツの伸展に資することを目的に、永年にわたり、スポーツ振興に貢献した個人・団体及びスポーツ界において優秀な成績を収めた功績顕著なものを表彰する。

施設名					
事業名	表彰事業				
開催時期	通年	回数	1回	会場	松山市総合コミュニティセンター大会議室
被表彰者数	46人	前年度延べ参加者数		42人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	651,000円	590,256円		－	
【内容】					
松山市のスポーツの伸展に資することを目的に、永年にわたり、スポーツの振興に貢献した個人・団体及びスポーツ界において優秀な成績を収めた功績顕著な方を表彰した。					
【結果】					
スポーツ功労賞3人、優秀スポーツ指導者賞7人、最優秀スポーツ選手賞1人、優秀スポーツ選手賞29人、優秀スポーツ団体賞6団体を表彰し、加盟団体選手の競技力向上を図るとともに、スポーツ団体指導者の永年の活動の功績をたたえることで、市民のスポーツ活動に対する意欲の向上を図った。					

### ⑧ スポーツ少年団育成事業

スポーツ少年団員の体力・精神力の養成と団活動の活発化を図るため、各種大会を実施する。（軟式野球・ソフトボール・バレーボール・剣道・ミニバスケットボール・サッカー）

施設名					
事業名	スポーツ少年団スポーツ行事事業				
開催時期	通年	回数	－	会場	－
参加者数	1,969人	前年度参加者数		1,557人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,764,000円	1,190,236円		407,900円	
【内容】 青少年の継続的なスポーツ活動を奨励し、体力・精神力・社会性の養成を図るため、第55回松山市スポーツ少年団の6種目（軟式野球・ソフトボール・サッカー・剣道・バレーボール・ミニバス）のスポーツ大会と野外活動交流会や第2回駅伝大会を開催した。					
【結果】 スポーツ大会6種目では1,854人の参加があり、小学生が日ごろの練習の成果を発揮する機会を創出した。また野外活動交流会では30人、駅伝大会では85人の参加があり、他の団との交流をはかるなど、団員の社会性の向上を行った。					

### ⑨ スポーツ少年団の登録

単位団、団員及び指導者の有料登録制によるメンバーシップ制を基盤とした団組織の確立を図るため、松山市スポーツ少年団への登録並びに県・日本スポーツ少年団への登録を行う。

施設名					
事業名	スポーツ少年団の登録				
開催時期	通年	回数	－	会場	－
団員数	2,515人	前年度団員数		2,493人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	1,740,000円	1,704,300円		－	
【内容】 単位団、団員及び指導者の有料登録制によるメンバーシップ制を基盤とした団組織の確立を図るため、松山市の募集登録並びに県・日本スポーツ少年団への登録を行った。					
【結果】 団数／119団、団員数／2,515人、指導者数／611人の登録を行った。					

### ⑩ 各種大会

スポーツ少年団の健全育成を図るため、愛媛県スポーツ少年大会へ団員を派遣する。

施設名					
事業名	各種大会				
開催時期	通年	回数	－	会場	愛媛県総合運動公園・外
延べ参加者数	1,186人	前年度延べ参加者数		460人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	220,000円	0円		－	
【内容】 スポーツ少年団の健全育成を図るため、愛媛県スポーツ少年大会へ団員を派遣した。					
【結果】 第56回愛媛県スポーツ少年大会の6種目（軟式野球・ソフトボール・ミニバス・サッカー・剣道・バレーボール）に合計1,186人の団員を派遣し、競技力の向上と他市町の団員との交流を図った。					

### ⑪ 指導者、リーダー養成

スポーツ少年団の指導者の資質向上を図るため、資格取得及び更新に伴う講習会等の受講支援を行う。

施設名					
事業名	スポーツ少年団指導者・リーダー養成事業				
開催時期	通年	回数	－	会場	－
延べ参加者数	27人	前年度延べ参加者数			18人
事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	－	－			－
【内容】					
スポーツ少年団指導者の資質向上を図るため、資格取得の補助を行った。					
【結果】					
愛媛県スポーツ少年団スタートコーチ養成講習会に参加者27人を派遣することで、指導力の向上とハラスメントの防止に努めた。					

### ⑫ 情報提供事業

財団が実施する事業内容や参加者の声などを紹介し、スポーツ活動の魅力を広く紹介する事業を実施する。

市民の文化やスポーツへの関心を高めるとともに、財団事業のPR、利用者への利便性向上のために、財団の主催事業や各施設でのイベントを紹介する「きゃめりあ」を発行した。また、ホームページによる施設情報や文化・スポーツ情報の提供を行うほか、様々なメディアを活用し情報の発信に努めた。

内 容	実施時期	配布数	決算額
施設情報誌「きゃめりあ」発行	月 1 回	15,720部	53,448円
ホームページによる施設、事業案内	随 時	—	—
教室のご案内（チラシ）	年 1 回	30,000部	220,000円

施設名	複数の施設を利用する情報提供事業				
事業名	【新規事業】石山大輝選手応援プロジェクト				
開催時期	10月～2月	回数	－	会場	北条スポーツセンターほか
延べ参加者数	200人	前年度延べ参加者数			－
事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	300,000円	359,000円			－
【内容】					
松山市出身で、2024パリパラリンピック男子走り幅跳び（視覚障害T12）の代表有力候補である石山大輝選手を応援するため、プロジェクトに賛同したサポーターたちの顔写真を集めて石山選手をモチーフとしたモザイクアートを製作・展示した。					
【結果】					
クラウドファンディングにて総額359,000円の寄付を募るとともに、市民から送られた約700枚の顔写真をベースにフォトモザイクアートを制作した。また、モザイクアートの完成お披露目会では、記念事業としてかけっこ教室を開催し、教室では石山選手が直接子どもたちに走り方や幅跳びについての指導を行った。完成した作品は約2ヶ月ごとに財団管理施設や聖カタリナ大学などに巡回展示した。					

### ⑬ 拠点施設運営事業

スポーツ愛好者が活動を行うことによりスポーツの楽しさを享受するとともに、多くの市民が観戦等を通してスポーツに接する機会が持てるよう、拠点となるスポーツ施設を運営する。

#### 松山市総合コミュニティセンター

##### <1> 専用利用施設

より多くの市民がスポーツ活動を行うため、日程調整会、予約システムにより、スポーツ目的の利用及びスポーツ団体を優先して貸し出す運営に努めた。

**体育館（専用利用スペース）**

##### <2> 個人利用施設

より多くの市民が気軽にスポーツ活動を行うため、個人利用者を対象に施設の開放に努めた。

**体育館（個人利用スペース）**

**温水プール**

#### 松山中央公園

##### <1> 専用利用施設

より多くの市民がスポーツ活動を行うため、日程調整会、予約システムにより、スポーツ目的の利用及びスポーツ団体を優先して貸し出す運営に努めた。

**メイン野球場（会議室を含む）**

**サブ野球場**

**プール（専用利用スペース）**

**屋内運動場**

**スポーツフロア**

**運動広場**

**テニスコート**

##### <2> 個人利用施設

より多くの市民が気軽にスポーツ活動を行うため、個人利用者を対象に施設の開放に努めた。

**プール（個人利用スペース）**

##### <3> 展示施設

**野球歴史資料館**

#### 松山市野外活動センター

##### <1> 専用利用施設

より多くの市民がスポーツ活動を行うため、日程調整や予約システムにより、スポーツ目的の利用及びスポーツ団体を優先して貸し出す運営に努めた。

**スクールゾーン（研修棟を除く）**

**キャンプゾーン**

**アドベンチャーゾーン**

#### 北条スポーツセンター・北条体育館

##### <1> 専用利用施設

より多くの市民がスポーツ活動を行うため、日程調整会、予約システムにより、スポーツ目的の利用及びスポーツ団体を優先して貸し出す運営に努めた。

**体育館（会議室を含む）**

**球技場**

**陸上競技場**

**フットサル場**

**野球場**

**北条体育館・武道場**



### 公益目的事業3

(定款第4条第1項第3号事業)

- (1) 埋蔵文化財の発掘、保存、調査研究及び文化財保護の普及啓発に関すること  
(定款第4条第1項第4号事業)

- (2) 松山市から受託する文化・スポーツ拠点施設等の管理運営

#### ① 教室事業

市民が古代の生活文化を体験し、実際に発掘された遺物にふれながら、遺物や地域に点在する古墳などの遺跡について学ぶなどの機会を提供する。

施設名	松山市立埋蔵文化財センター				
事業名	古代体験教室				
開催時期	通年	回数	351回	会場	松山市考古館及び出前講座先
延べ参加者数	4,347人	前年度延べ参加者数		3,045人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	479,000円	515,563円		-	
【内容】					
主に小学生とその保護者を対象として、松山の歴史や考古学に興味・関心を高める場を提供するため、石勾玉作りなど古代体験メニュー7種類を実施し、「石勾玉」など3種類は考古館受付で体験キットとして販売した。					
【結果】 定員(4,878人) 延べ参加者数(4,347人) 参加者は延べ4,347人、対前年度比143%(1,302人増)であった。増加要因には小学校の団体来館増による「火おこし」974人増や一般来館者増による「石勾玉」165人増・「ペンダント」71人増がある。来館の小学校教員からは「火おこし体験は火の大切さや、道具の大事さを知る機会になり、良い機会だった」、古代体験教室の参加者からは「勾玉作りは大変だったけど楽しかった」などの感想があった。					

施設名	松山市立埋蔵文化財センター				
事業名	考古館出前講座				
開催時期	通年	回数	68回	会場	小中学校・公民館等
延べ参加者数	5,518人	前年度延べ参加者数		5,295人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	74,000円	31,828円		-	
【内容】					
学校・公民館などへ出向いて講義や体験学習を実施。講義ではスライドを使用して地域の遺跡を紹介し、出土品を持ち込んでの「本物を見る」学習、「火おこし体験」などの古代体験学習を行った。					
【結果】 件数(68件) 延べ参加者数(5,518人) 参加者は延べ5,518人、対前年度比104%(223人増)であった。公民館・児童クラブ等は9件1,110人増であったが、小学校は32校で対前年度比4校1,005人減であった。小学校の減少要因は来館利用に変更したことによるものである。みどり小学校クラブ活動(年間10回)では「楽しかった。校区に遺跡があることを知ってよかった」、公民館・児童クラブでは「次年度もお願いしたい」などの感想があった。					

施設名	松山市立埋蔵文化財センター				
事業名	考古学リレー講座「発掘 松山の至宝」				
開催時期	6月～3月	回数	9回	会場	松山市考古館ほか
延べ参加者数	324人	前年度延べ参加者数		297人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	90,000円	85,994円		-	
【内容】					
松山の歴史や文化財に興味・関心を持っていただくことを目的に、埋蔵文化財センター調査員に加え外部講師が、実際の出土品を前にスライドを使って講義するとともに、現地見学1回を含む全9回実施した。なお、天候不良から中止1回が発生した。					
【結果】 定員(60人) 応募者(50人) 延べ参加者数(324人) 参加者は1回平均36人、延べ324人、対前年度比109%(27人増)であった。スライドによる詳しい解説と出土品見学は好評であり、外部講師を招へいたことで、旧北条市域・旧中島町域を含む幅広い地域かつ、新しい時代(近代・現代)の歴史の調査・研究成果を提供することができた。参加者からは「有意義に受講した」・「来年度楽しみにしている」などの感想があった。					

<① 教室事業>

施設名	松山市立埋蔵文化財センター				
事業名	親子考古学教室				
開催時期	7月、12月	回数	3回	会場	松山市考古館
延べ参加者数	46人	前年度延べ参加者数		72人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	60,000円	25,450円		-	
【内容】 小学生とその保護者に遺跡や出土品への興味・関心を高める機会の提供を目的として、講話（発掘調査・地層）、展示室案内、バックヤードツアー（土器復元室）、地層グラス作り体験を実施し、終了時には「こども学芸員証」を進呈した。					
【結果】 募集定員（10組25人×4回） 応募者数（95人） 延べ参加者数（46人） 夏季2回、冬季1回の計3回開催した。予定では冬季2回であったが、参加者の参加回変更により、冬季が2回から1回になった。復元室などのバックヤード見学や『地層グラスをつくろう』の体験は、日頃できない体験であり、好評であった。アンケートでは、98%が「興味をもった」・「昔のことを知れて良かった」で、なかには「大人向けの教室を希望」される参加者があり、次年度の実施に向け検討する。					

施設名	松山市立埋蔵文化財センター				
事業名	まつやまの歴史を学ぼう				
開催時期	9月～1月	回数	5回	会場	松山市考古館
延べ参加者数	128人	前年度延べ参加者数		75人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	125,000円	116,959円		-	
【内容】 松山市内の地域の魅力や文化の面白さを再発見する機会の提供を目的として、考古学・文学・民俗学・建築学の各専門家を講師に招へいし、5回の講話を実施した。					
【結果】 募集定員（50人） 応募者数（40人） 延べ参加者数（128人） 参加者は128人、対前年度比171%（53人増）であった。参加者の半数がリピーターであり、継続事業の成果が現れている。参加者アンケートでは84.5%が『松山の歴史や文化にさらに興味・関心を高めることができた』の回答であり、「松山の歴史についての講座を今後も継続してほしい」など、事業の継続を希望する声があった。					

② 展示事業

市民が、地域の歴史について出会い、伝え、広めることができるよう、さまざまな展示を通して埋蔵文化財への関心を高めるための機会を提供する。

施設名	松山市立埋蔵文化財センター				
事業名	松山市考古館ロビー展				
開催時期	通年	回数	308回	会場	松山市考古館
延べ参加者数	36,353人	前年度延べ参加者数		25,509人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	194,000円	156,492円		-	
【内容】 考古館ロビー等で市民の関心が高い遺跡の出土品や古代に関係する各種資料などを取り上げた展示として、「大連古代蓮の育成と写真展」・「発掘情報展」・「2023kid's全国巡回展考古学新聞コンクール」を実施した。					
【結果】 観覧者数は延べ36,353人、対前年度比143%（10,844人増）で、「大連古代蓮の育成と写真展」は1年間継続開催し15,258人（3,230人増）、「発掘情報展」は5回開催し延べ16,718人（4,450人増）、昨年度に引き続き7月～8月に開催した「キッズ全国巡回展考古学新聞コンクール」は1,273人（319人増）であった。SNS「X」で大連古代蓮の開花状況を配信したことで、20歳代の見学者が増加した。					

<② 展示事業>

施設名	松山市立埋蔵文化財センター				
事業名	四国地区埋蔵文化財センター「発掘へんろ展」				
開催時期	4月～7月	回数	62回	会場	松山市考古館
延べ参加者数	3,493人	前年度延べ参加者数		2,119人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	387,000円	305,855円		-	
【内容】					
<p>四国内の埋蔵文化財センター5団体が発掘出土品を持ち寄り合同で行う四国巡回展。「城と城下町」をテーマに、発掘調査や最新の研究により明らかとなった江戸時代の城や城下町の暮らしを考古資料と写真パネルで紹介。</p>					
【結果】 展示延べ参加数（3,417人）、 解説会：募集定員（120人） 応募者数（81人） 参加者数（76人）					
<p>参加者数は3,493人、対前年度比165%（1,374人増）で、展示解説会を2回実施（延べ76人）した。会期中に古代蓮が開花し、古代蓮の観覧者に展示会の案内をするなどしたことで観覧者増加につながった。参加者アンケートでは「この展示で文化財に興味を持ったか」の問いに対して、「興味を持った」の回答が100%で、参加者からは「毎年楽しみにしています」などの感想があった。</p>					

施設名	松山市立埋蔵文化財センター				
事業名	愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」				
開催時期	7月～11月	回数	112回	会場	松山市考古館ほか
延べ参加者数	2,991人	前年度延べ参加者数		2,625人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	397,000円	311,943円		-	
【内容】					
<p>（公財）愛媛県埋蔵文化財センターとの連携事業。7月～8月に展示会「掘ったぞな松山2023」を開催し、前年度に松山市内で発掘調査した出土品を展示した。9月～11月に展示会「いにしへのえひめ」を開催し、前年度に今治市・新居浜市・西条市で発掘調査した出土品を展示した。各展示会で解説会等を実施した。</p>					
【結果】 展示会延べ参加数（2,757人）、「掘ったぞな松山2023」（1,361人）・「いにしへのえひめ」（1,396人）					
<p>「掘ったぞな松山2023」は対前年度比111%（130人増）、「いにしへのえひめ」は対前年度比100%（2人増）であった。関連事業として講演会・報告会・古代体験教室「石勾玉作り」・親子考古学講座を実施し、延べ234人の参加者があった。参加者からは「自分が住んでいる地域が歴史のある場所だとわかりました」、「知っているところで発掘していたことを初めて知って、驚いた」などの感想があった。</p>					

施設名	松山市立埋蔵文化財センター				
事業名	埋蔵文化財センター（考古館）特別展				
開催時期	10月～3月	回数	117回	会場	松山市考古館
延べ参加者数	4,807人	前年度延べ参加者数		2,183人	
事業費	予算額	決算額		参加料等収入	
	3,944,460円	3,793,409円		-	
【内容】					
<p>前期展：愛媛大学連携事業で「発掘 文京の顔」をテーマに文京遺跡出土の「分銅形土製品」などを愛媛大学ミュージアムと松山市考古館で巡回展示した。後期展：奈良県磯城郡田原本町・桜井市との連携事業で「弥生時代のヤマト」をテーマに重要文化財を含む弥生時代の絵画土器・勾玉などを展示した。</p>					
【結果】 延べ参加者（4,807人）、前期展（3,245人）・後期展（1,562人）					
<p>前期展：展示会は10/2～12/2に愛媛大学ミュージアム、12/9～1/14に松山市考古館で開催した。講演会・ギャラリートーク・古代体験教室などには延べ387人の参加者があった。後期展：展示会は1/27～3/10に考古館で開催した。シンポジウム・展示解説会を実施し、延べ159人の参加者があった。展示会の参加者からは「新聞やテレビで見たことのある物を実際に見みれて大変楽しい」などの感想があった。</p>					

### ③ 発掘調査研究事業

市内における重要遺跡等の発掘調査、周知の埋蔵文化財包蔵地内における試掘調査を実施し、整理、保存処理及び分析等の工程を実施し、その成果物として詳細な報告書を作成し、関係各所へ配布することで埋蔵文化財の保護思想の周知に努め、考古学の研究発展に寄与する。

施設名	松山市立埋蔵文化財センター				
事業名	発掘調査事業				
開催時期	通年	回数	7回	会場	松山市全域及び埋蔵文化財センター
延べ参加者数	—	前年度延べ参加者数		—	
事業費	予算額		決算額		参加料等収入
	94,260,000円		15,925,599円		—
【内容】					
民間・公共の開発に伴う委託契約により発掘調査（本格調査）を実施するとともに、整理及び概要報告書の作成を行った。					
【結果】					
本格調査は7件(昨年度4件)で、対前年度3件増加。調査面積は1,462㎡(昨年度1,164㎡)で、対前年度298㎡増加。報告書作成に伴う整理作業は0件(昨年度1件)で、報告書の刊行は無かった。					

施設名	松山市立埋蔵文化財センター				
事業名	発掘調査補助事業				
開催時期	通年	回数	6回	会場	松山市全域及び埋蔵文化財センター
延べ参加者数	—	前年度延べ参加者数		—	
事業費	予算額		決算額		参加料等収入
	49,390,000円		28,593,400円		—
【内容】					
国庫補助事業委託による発掘調査（本調査）を実施し、これに係る報告書作成に伴う整理・刊行業務、遺跡地図情報の整理、公共・民間の開発に伴う試掘調査、松山城三之丸跡保存整備に伴う発掘調査等を行った。					
【結果】					
本発掘調査並びに重要遺跡確認調査等は1件、対前年度比で増減なし。試掘調査は105件（昨年度116件）で、対前年度11件減少。試掘調査面積は52,992㎡（昨年度95,832㎡）で、対前年度42,840㎡減少。出土物等の整理業務は2件12遺跡（昨年度3件5遺跡）を行い、報告書は1冊4遺跡（昨年度1冊2遺跡）を刊行した。					

施設名	松山市立埋蔵文化財センター				
事業名	出土物整理・保存、報告書作成事業				
開催時期	通年	回数	—	会場	埋蔵文化財センター
延べ参加者数	—	前年度延べ参加者数		—	
事業費	予算額		決算額		参加料等収入
	2,334,718円		2,263,677円		—
【内容】					
昭和40年代からの発掘調査済みの遺跡のうち、未整理遺跡の出土遺物等、発掘調査資料の整理・保存、収蔵及びデータ整理に基づく調査報告書を作成した。					
【結果】					
下難波腰折遺跡や祝谷大地ヶ田遺跡など出土の金属製品の保存処理、市内出土木製品の整理・再収蔵、市内遺跡出土の弥生土器・須恵器等の復元作業等を実施した。調査報告は「持田本村遺跡2次調査」・「松山市埋蔵文化財調査年報35」を刊行（各300部）した。 ・報告書刊行状況＝調査済遺跡数…816遺跡／刊行済…536遺跡／未刊行…280遺跡					

#### ④ 拠点施設運営事業

埋蔵文化財を調査・研究し、遺物などの整理・保存・収蔵に努めるとともに、これらの研究成果について報告書を作成して、これを広く全国に配信することにより、地域固有の歴史と文化の紹介を広く行う。

また、これらの成果物を活用した埋蔵文化財の周知及び普及啓発を同時に行うことにより、市民が地域のアイデンティティを再発見し後世に伝えることの出来る文化施設を運営する。

#### 松山市立埋蔵文化財センター

##### 考古館

松山市内における埋蔵文化財の発掘調査によって発見された遺跡から出土した遺物や写真等を活用し、特別展や体験学習セミナー・遺跡めぐり等を開催することにより、埋蔵文化財保護思想の普及啓発を实践する拠点施設を運営する。

##### 情報館

松山市内で出土した土器や石器等を整理・保管し、埋蔵文化財センター及び考古館と一体となって展示・収蔵施設を備えた埋蔵文化財保護施設を運営する。

## 収益事業

(定款第4条第2項第1号事業)

管理運営する文化・スポーツ施設を公益目的以外で行う貸与事業

(定款第4条第2項第2号事業)

管理運営する文化・スポーツ施設における駐車場及び売店の運営

### ① 収益事業

文化・スポーツ施設における公益目的事業以外への貸与及び駐車場・売店などの施設を運営する。

#### 松山市総合コミュニティセンター

○研修、会議など文化・スポーツ施設における、文化・スポーツ利用目的以外への施設の貸与

##### カメラリアホール

民間プロモーターが主催するコンサート、企業研修会やセミナーなどへの貸与を行う。

##### 研修会議室

企業研修や展示会などへの貸与を行う。

##### 企画展示ホール

企業の商品展示会などへの貸与を行う。

○施設利用者が利用する駐車場・売店の運営

##### 駐車場

#### 松山中央公園

○施設利用者が利用する駐車場・売店の運営

##### 売店等

#### 松山市民会館

○研修、会議など文化・スポーツ施設における、文化・スポーツ利用目的以外への施設の貸与

##### 大ホール・中ホール・小ホール

民間プロモーターの開催するコンサート、企業研修会やセミナーなどへの貸与を行う。

##### 会議室・和室・洋室

企業研修や展示会などへの貸与を行う。

#### 松山市野外活動センター

○研修、会議など文化・スポーツ施設における、文化・スポーツ利用目的以外への施設の貸与

##### スクールゾーン（研修棟）

宿泊を兼ねた企業研修会などへの貸与を行う。

## 4 文化・スポーツ拠点施設等の管理運営

### (1) 全体の利用者状況・収入状況

令和5年度は、5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、各施設ともに利用制限を行うことなく運営することができた。また、令和2年～4年度と比較すると施設利用者と使用料等収入は、大幅に回復しているものの、コロナ禍以前の状況と比較すると約8割程度に留まる結果となった。

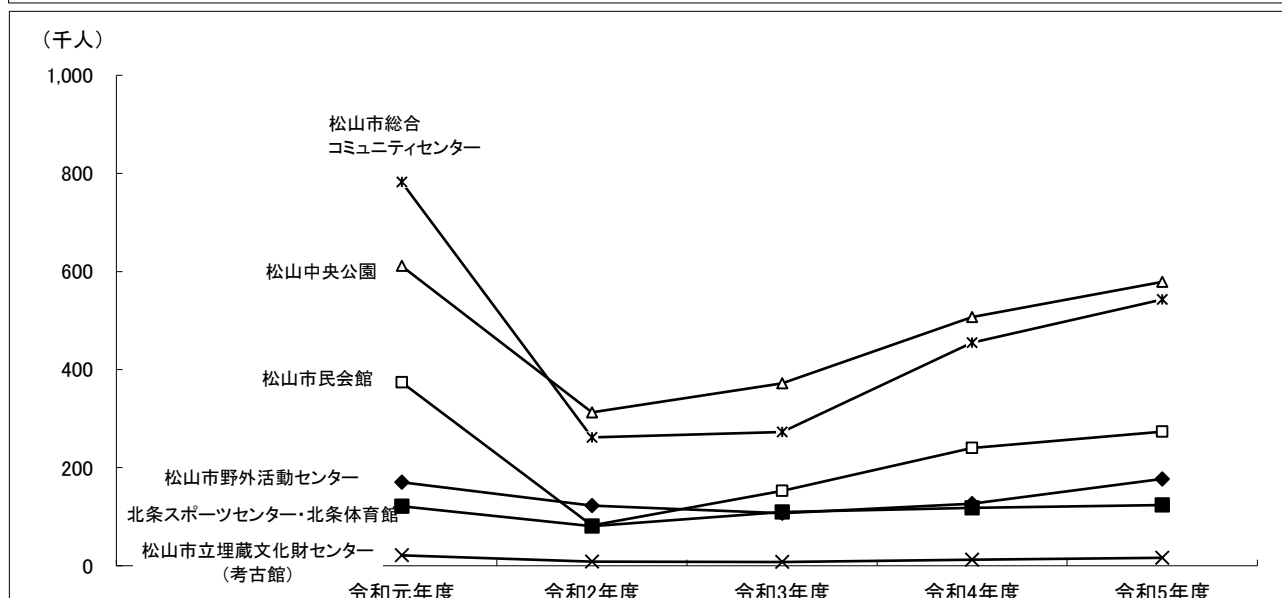
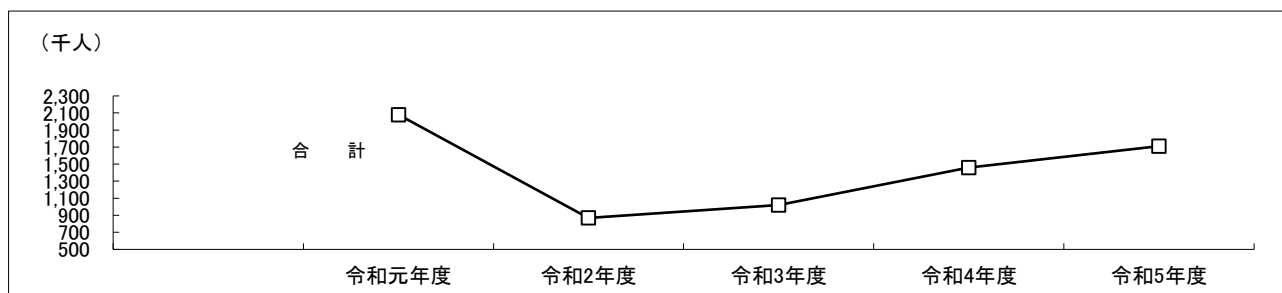
#### ①利用者状況

本年度の利用者数は、1,711,848人で、昨年度の1,458,654人に比べ、253,194人(17.4%)増加している。

(人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
松山市総合コミュニティセンター	782,512	261,780	272,460	454,752	542,722
松山中央公園	611,144	312,819	371,638	506,923	578,559
松山市民会館	374,044	82,211	152,427	240,119	273,444
松山市立埋蔵文化財センター (考古館)	21,269	8,670	7,660	12,418	16,226
松山市野外活動センター	170,106	122,474	107,155	126,579	177,110
北条スポーツセンター・北条体育館	121,445	80,740	109,797	117,863	123,787
合計	2,080,520	868,694	1,021,137	1,458,654	1,711,848

#### ○財団全体の利用者状況5か年推移



## ②使用料等収入状況

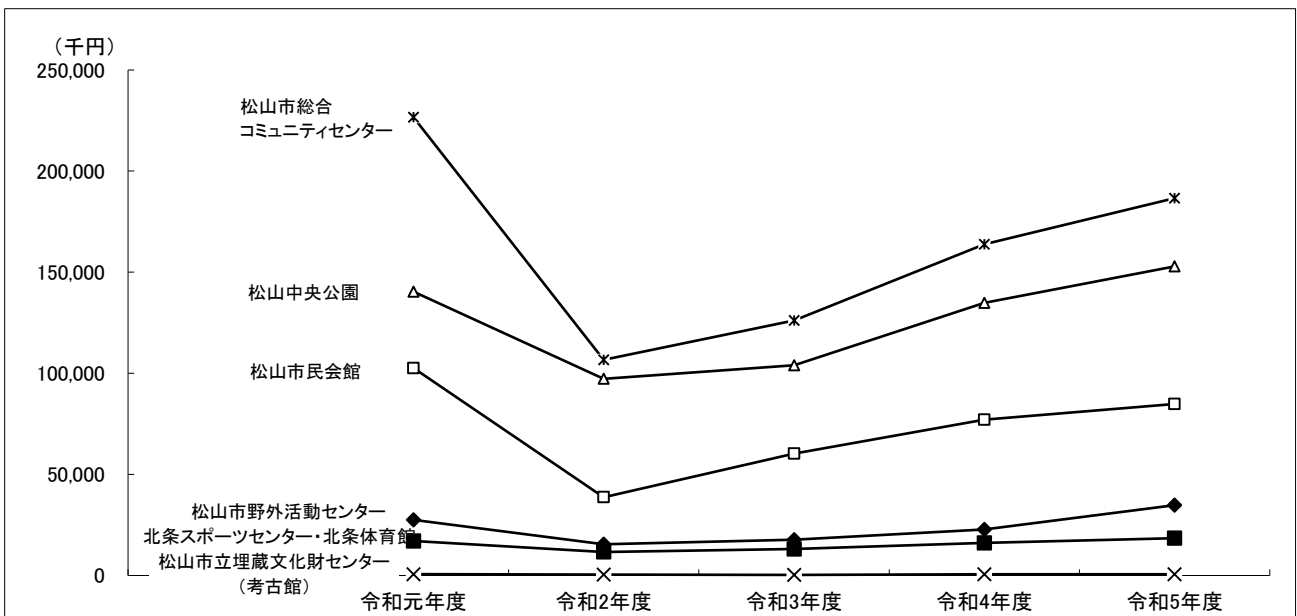
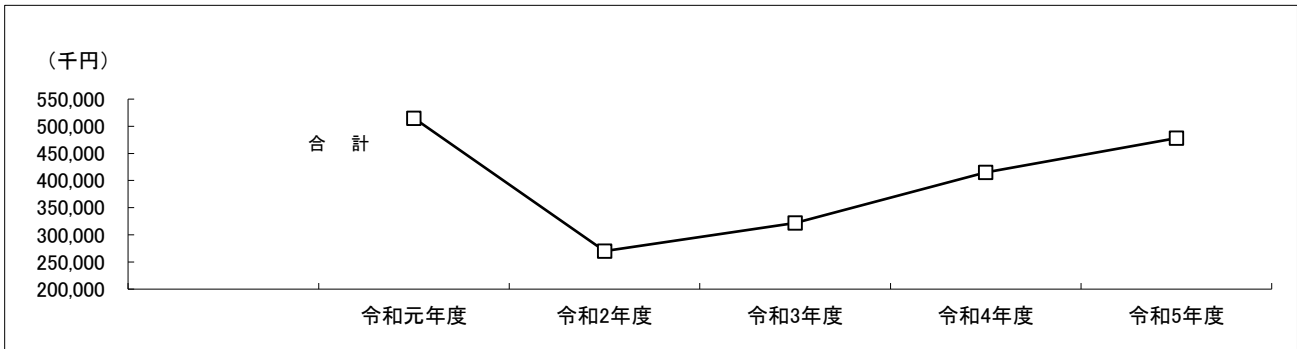
本年度の使用料等収入は、478,053,823円で、昨年度の415,062,679円に比べ、62,991,144円(15.2%)の増加となっていた。

施設別の使用料等収入状況5か年推移

(円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
松山市総合コミュニティセンター	226,623,795	106,675,725	126,118,850	163,759,795	186,536,860
松山中央公園	140,420,959	97,265,000	104,050,024	134,830,414	152,868,789
松山市民会館	102,604,660	38,693,060	60,306,850	77,086,360	84,834,680
松山市立埋蔵文化財センター (考古館)	676,690	400,220	286,340	545,830	596,070
松山市野外活動センター	27,580,610	15,441,735	17,757,382	22,724,180	34,771,584
北条スポーツセンター・北条体育館	17,000,928	11,612,098	13,180,448	16,116,100	18,445,840
合計	514,907,642	270,087,838	321,699,894	415,062,679	478,053,823

○財団全体の使用料等収入状況5か年推移





## (2)松山市総合コミュニティセンター管理運営事業

本年度の利用者数は、542,722人で、昨年度の454,752人に比べ87,970人(19.3%)増加していた。また、使用料等収入は、186,536,860円で、昨年度の163,759,795円に比べ22,777,065円(13.9%)増加していた。主な要因として、新型コロナウイルス感染拡大防止のための利用制限の廃止や、スポーツ大会やコンサート等の催しで各主催団体が実施していた感染対策ガイドラインの緩和による影響が考えられる。

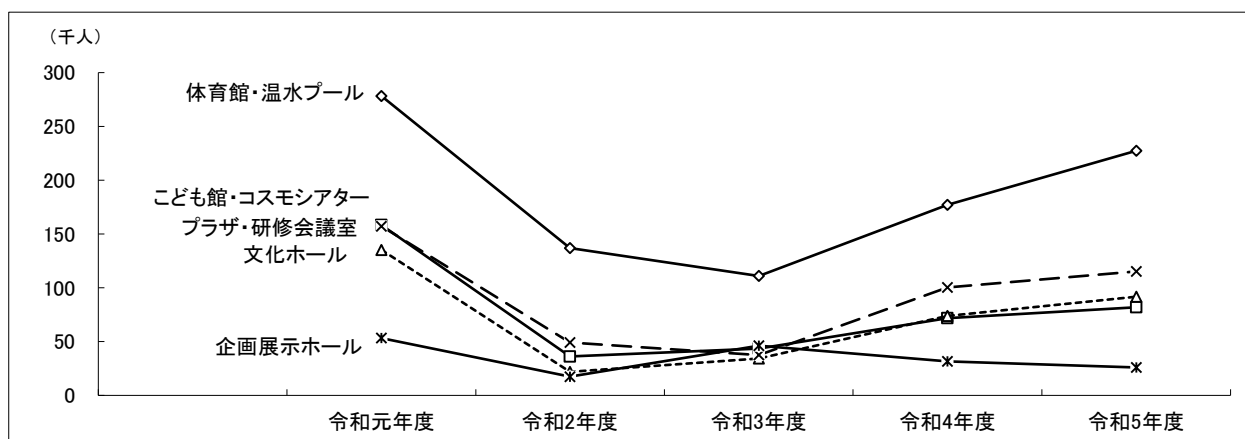
### ①利用者状況

利用者状況5か年推移

(人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
体育館・温水プール	278,304	137,017	110,983	177,161	227,500
プラザ・研修会議室	158,373	36,212	43,393	71,656	82,018
文化ホール	135,286	21,899	34,381	73,870	91,830
こども館・コスモシアター	157,309	49,201	37,458	100,372	115,282
企画展示ホール	53,240	17,451	46,245	31,693	26,092
合計	782,512	261,780	272,460	454,752	542,722

### ○施設別の利用者状況5か年推移



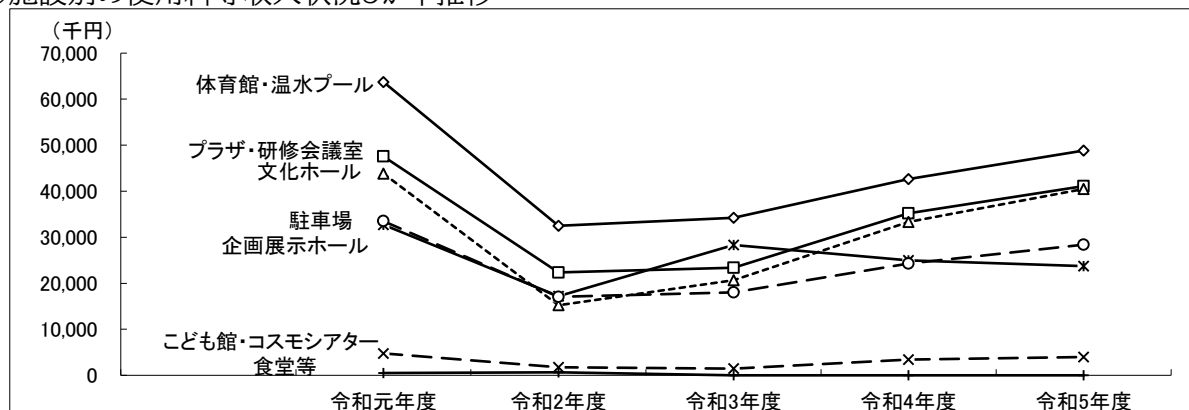
### ②使用料等収入状況

使用料等収入状況5か年推移

(円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
体育館・温水プール	63,740,715	32,485,365	34,228,880	42,654,725	48,814,650
プラザ・研修会議室	47,557,840	22,354,780	23,405,920	35,178,170	41,125,900
文化ホール	43,839,180	15,222,610	20,698,400	33,293,950	40,511,090
こども館・コスモシアター	4,763,210	1,716,310	1,449,960	3,413,850	3,971,870
企画展示ホール	32,721,350	17,192,160	28,292,290	24,961,300	23,716,950
駐車場	33,496,300	17,053,500	18,043,400	24,257,800	28,396,400
食堂等	505,200	651,000	0	0	0
合計	226,623,795	106,675,725	126,118,850	163,759,795	186,536,860

### ○施設別の使用料等収入状況5か年推移



### (3)松山中央公園管理運営事業

本年度の利用者数は、588,548人で、昨年度の517,664人に比べ70,884人(13.7%)増加した。また、使用料収入は、152,868,789円で、昨年度の134,830,414円に比べ、18,038,375円(13.4%)増加した。主な要因として、新型コロナウイルス感染拡大防止のための利用制限の廃止や、スポーツ団体等の感染対策ガイドラインの緩和が考えられる。

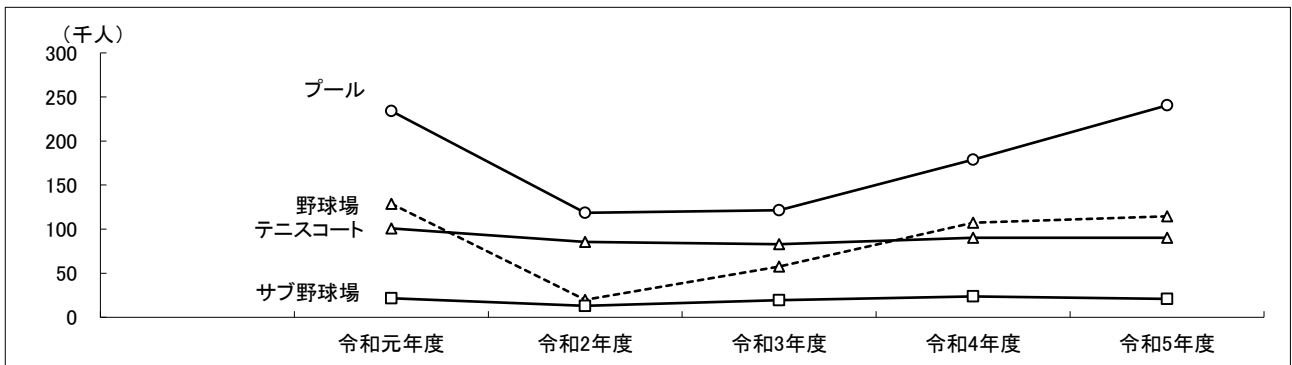
#### ①利用者状況

利用者状況5か年推移

(人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
野 球 場	128,860	19,860	57,495	107,364	114,516
サ ブ 野 球 場	21,652	13,021	19,344	23,673	20,730
屋 内 練 習 場	61,170	35,518	38,126	47,115	51,887
屋 内 運 動 場	28,450	18,837	21,420	24,665	24,903
運 動 広 場	36,063	21,646	30,832	34,983	35,940
テ ニ ス コ ー ト	100,863	85,376	82,910	90,227	90,145
プ ー ル	234,086	118,561	121,511	178,896	240,438
野 球 歴 史 資 料 館	11,659	3,403	3,404	10,741	9,989
合 計	622,803	316,222	375,042	517,664	588,548

#### ○施設別の利用者状況5か年推移



#### ②使用料収入状況

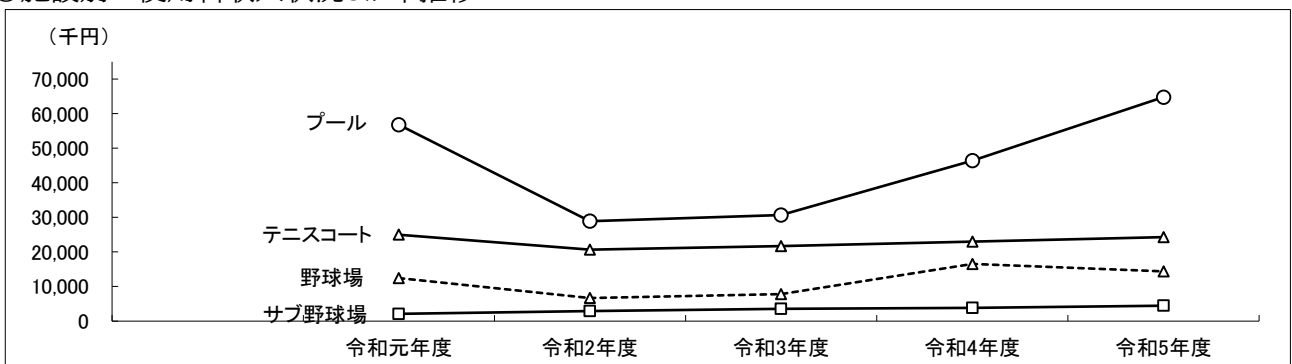
使用料収入状況5か年推移

(円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
野 球 場	12,469,592	6,680,070	7,831,137	16,545,561	14,413,193
サ ブ 野 球 場	2,108,060	2,903,996	3,565,699	3,865,005	4,461,465
屋 内 練 習 場	7,253,444	5,270,760	5,233,889	6,876,285	7,187,880
屋 内 運 動 場	4,376,216	4,198,170	3,751,150	4,298,390	4,360,135
運 動 広 場	3,555,514	2,802,970	3,808,970	3,934,180	5,082,050
テ ニ ス コ ー ト	24,988,050	20,672,700	21,662,760	22,987,680	24,247,080
プ ー ル	56,822,800	28,894,715	30,642,645	46,371,345	64,785,290
そ の 他	28,847,283	25,841,619	27,553,774	29,951,968	28,331,696
合 計	140,420,959	97,265,000	104,050,024	134,830,414	152,868,789

\*屋内練習場は屋内練習場外6施設を含む。 \*その他収入は広告収入、売店収入等を含む。

#### ○施設別の使用料収入状況5か年推移



#### (4)松山市民会館管理運営事業

本年度の利用者数は、273,444人で、昨年度の240,119人に比べ33,325人(13.9%)増加していた。また、使用料収入は、84,834,680円で、昨年度の77,086,360円に比べ7,748,320円(10.1%)増加していた。主な要因は、コロナ禍中に中止となっていたコンサート等のイベントが再開されたことによるもので、入場者数が伸びたことによりコロナ禍以前と同水準にまで回復した。

##### ①利用者状況

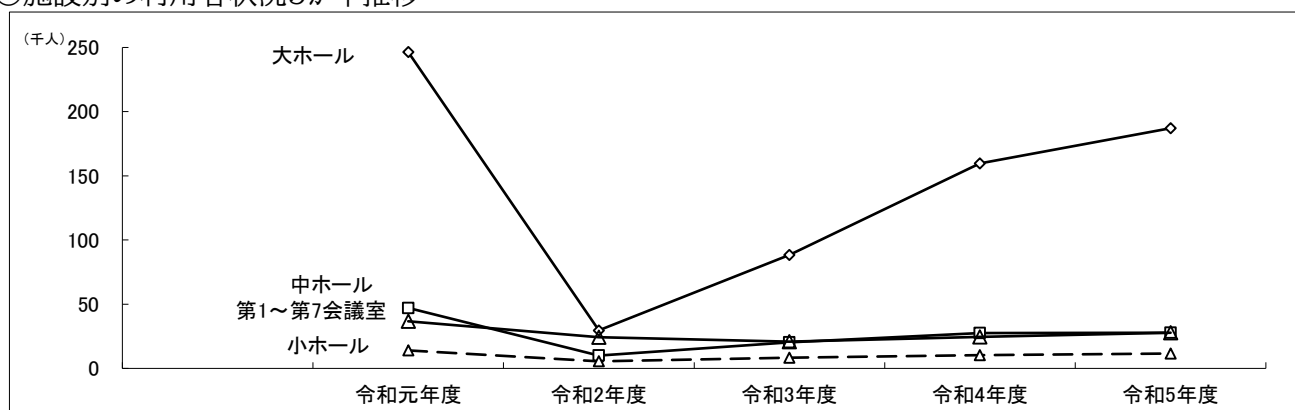
##### 利用者状況5か年推移

(人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
大 ホール	246,403	29,649	88,467	159,604	187,182
中 ホール	47,105	10,005	20,202	27,429	27,759
小 ホール	13,999	5,501	8,213	10,415	11,474
第1～第7会議室	36,698	24,386	20,842	24,462	27,809
和室	2,016	1,042	782	1,120	1,513
洋室	6,485	3,002	3,025	3,537	3,616
リハールサル室	9,794	4,754	6,843	8,265	7,293
練習室	11,544	3,872	4,053	5,287	6,798
合計	374,044	82,211	152,427	240,119	273,444

\*小ホールは小ホール会議室、和室1を含む。

##### ○施設別の利用者状況5か年推移



##### ②使用料収入状況

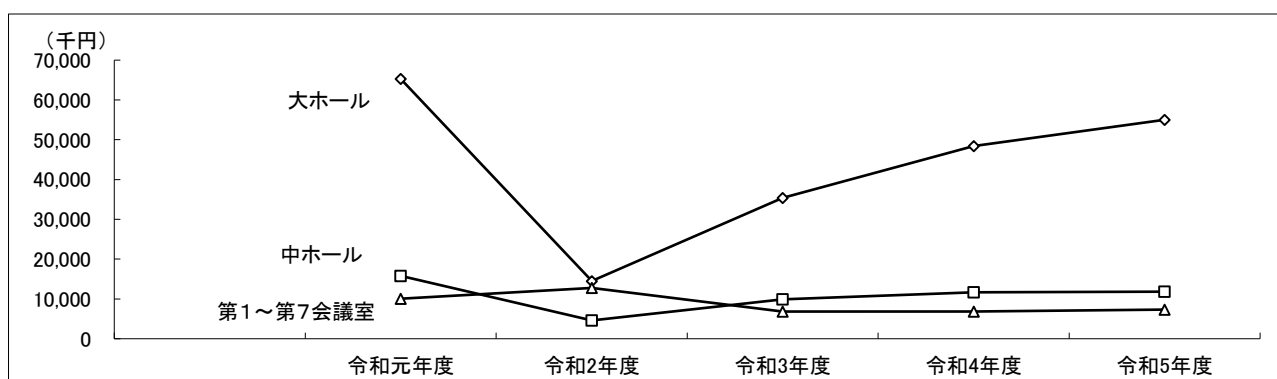
##### 使用料収入状況5か年推移

(円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
大 ホール	65,280,860	14,515,480	35,400,510	48,411,460	55,015,250
中 ホール	15,793,870	4,602,960	9,907,790	11,685,740	11,793,680
小 ホール	3,330,130	1,670,200	2,262,640	3,204,660	3,417,890
第1～第7会議室	10,042,800	12,765,840	6,833,550	6,874,170	7,314,720
和室	652,460	425,470	287,150	416,380	624,330
洋室	2,281,120	1,570,080	1,615,900	1,592,080	1,697,300
リハールサル室	2,258,760	1,395,440	1,933,390	2,241,710	2,188,030
練習室	2,951,260	1,747,190	2,058,320	2,655,560	2,775,580
その他(ロッカー)	13,400	400	7,600	4,600	7,900
合計	102,604,660	38,693,060	60,306,850	77,086,360	84,834,680

\*小ホールは小ホール会議室、和室1を含む。

##### ○使用料収入状況5か年推移



## (5)松山市立埋蔵文化財センター管理運営事業

本年度の利用者数は、16,226人で、昨年度の12,418人に比べ、3,808人(30.7%)増加している。また、観覧料等収入は、596,070円で、昨年度の545,830円に比べ、50,240円(9.2%)増加している。主な要因としては、新型コロナウイルス感染症の5類移行により小学校等の団体利用が増加したことによる。コロナ禍以前の数値には届かなかったが、一般客数はほぼ回復しており、高齢者や団体客の復調を待つ状況となっている。

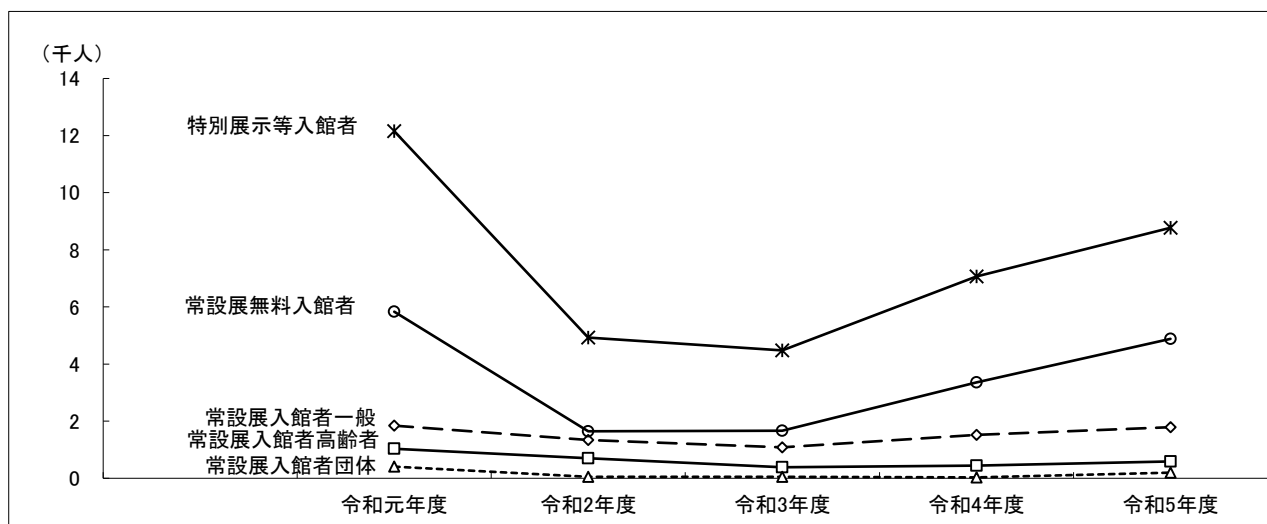
### ①利用者状況

利用者状況5か年推移

(人)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
常設展示	一般	1,843	1,336	1,084	1,515	1,784
	高齢者	1,033	702	386	446	593
	団体	408	54	48	31	192
	無料入館者	5,833	1,646	1,664	3,359	4,887
特別展示等		12,152	4,932	4,478	7,067	8,770
合計		21,269	8,670	7,660	12,418	16,226

○施設別の利用者状況5か年推移



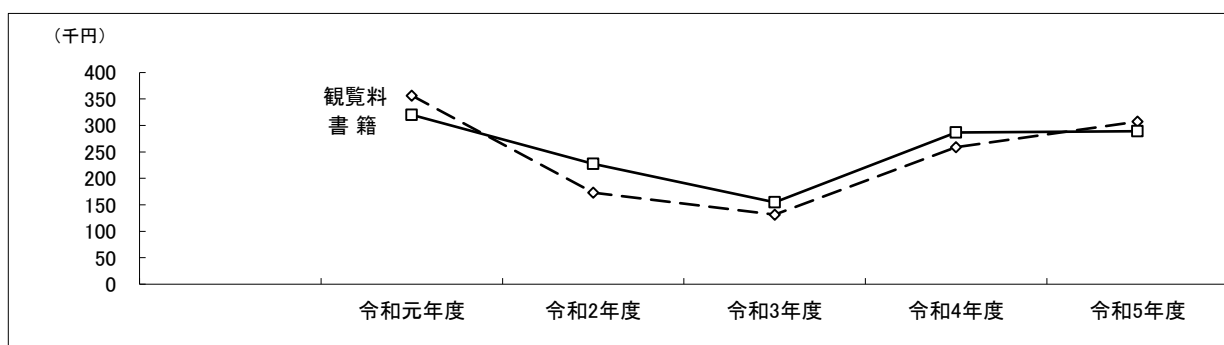
### ②観覧料等収入状況

収入状況5か年推移

(円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
観覧料		356,590	173,020	131,540	258,880	307,170
書籍		320,100	227,200	154,800	286,950	288,900
合計		676,690	400,220	286,340	545,830	596,070

○収入状況5か年推移



## (6)松山市野外活動センター管理運営事業

本年度の利用者数は177,110人で、昨年度の126,579人に比べ50,531人(39.9%)増加していた。また、使用料収入は、34,771,584円で、昨年度の22,724,180円に比べ12,047,404円(53.0%)増加した。特にキャンプゾーンは利用者数、使用料収入ともにコロナ禍前である令和元年度を上回った。主な要因として、コロナ禍でアウトドアレジャーが流行となったことにより、野外活動に興味を持つ方の需要が増加したことが考えられる。

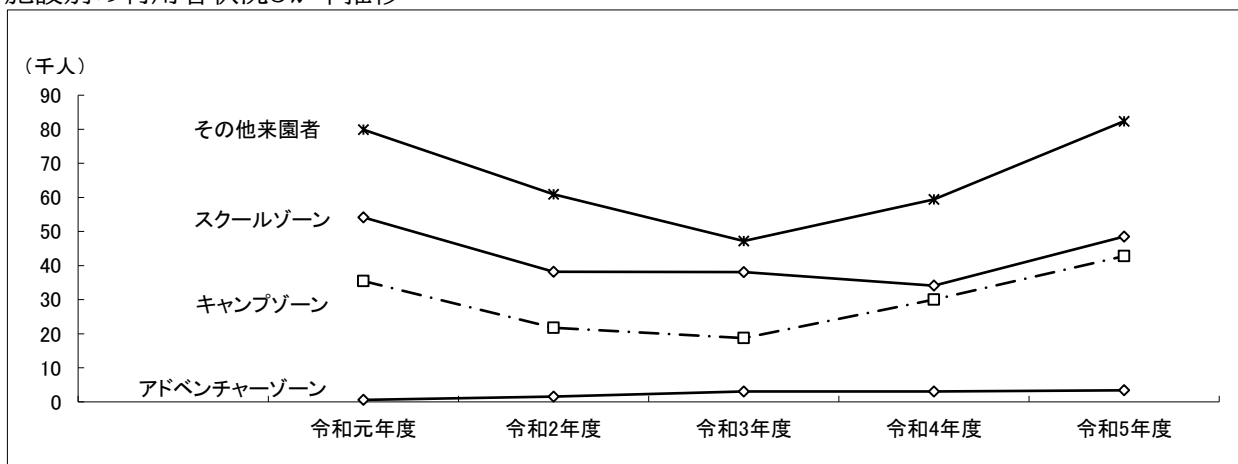
### ①利用者状況

利用者状況5か年推移

(人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ス ク ー ル ゾ ー ン	54,163	38,225	38,117	34,105	48,550
キ ャ ン プ ゾ ー ン	35,449	21,793	18,722	30,015	42,781
ア ド ベ ン チ ャ ー ゾ ー ン	588	1,562	3,101	3,042	3,396
そ の 他 来 園 者	79,906	60,894	47,215	59,417	82,383
合 計	170,106	122,474	107,155	126,579	177,110

### ○施設別の利用者状況5か年推移



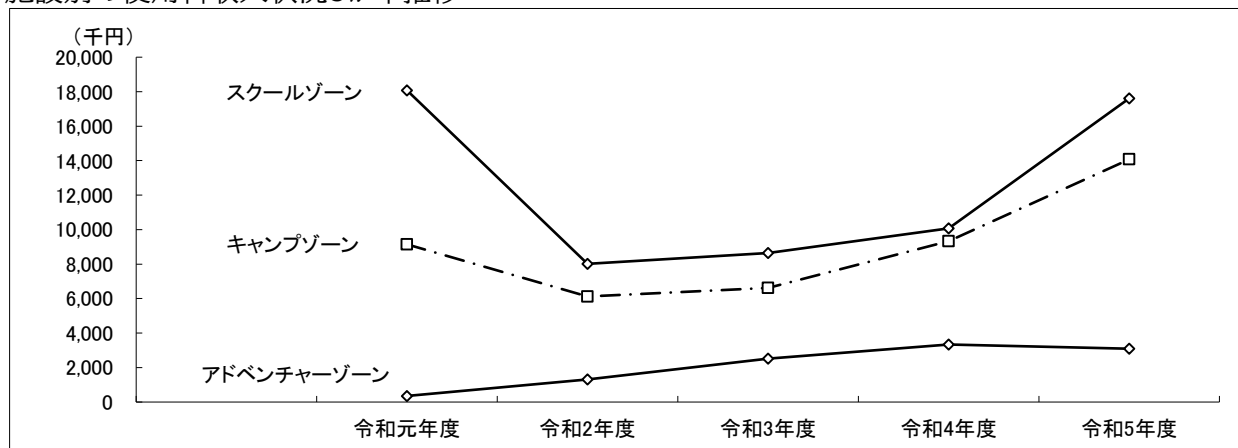
### ②使用料収入状況

使用料収入状況5か年推移

(円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ス ク ー ル ゾ ー ン	18,076,450	8,014,750	8,636,390	10,064,660	17,611,775
キ ャ ン プ ゾ ー ン	9,152,000	6,121,950	6,611,185	9,323,635	14,072,630
ア ド ベ ン チ ャ ー ゾ ー ン	352,160	1,305,035	2,509,807	3,335,885	3,087,179
合 計	27,580,610	15,441,735	17,757,382	22,724,180	34,771,584

### ○施設別の使用料収入状況5か年推移



(7)北条スポーツセンター及び北条体育館管理運営事業

本年度の利用者数は、123,787人で、昨年度の117,863人に比べ5,924人(5.0%)増加していた。また、使用料収入は、18,445,840円で、昨年度の16,116,100円に比べ、2,329,740円(14.5%)増加していた。主な要因としては、新型コロナウイルス感染拡大期に行った施設利用の予約制限の廃止、安心安全な施設管理体制の確立、社会経済活動の再開に伴い市民スポーツ活動が活発化したことが考えられる。

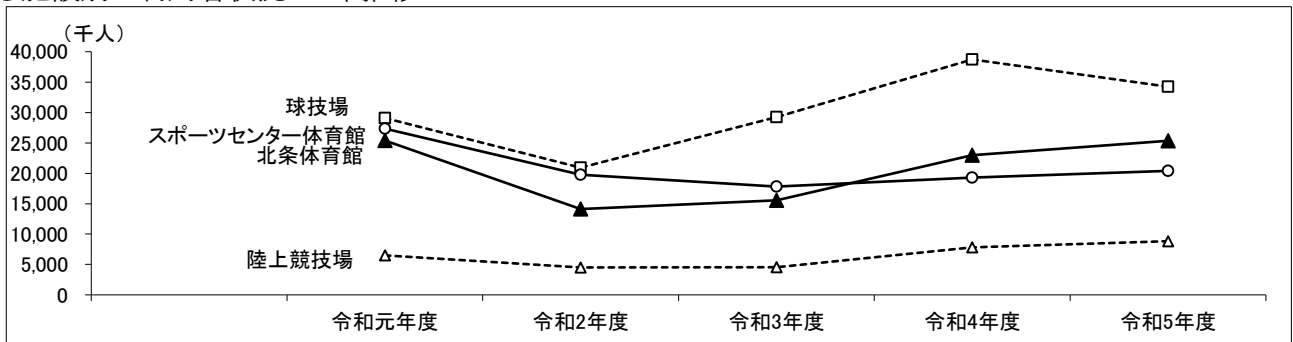
①利用者状況

利用者状況5か年推移

(人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
陸上競技場	6,476	4,513	4,552	7,804	8,832
球技場	29,105	20,930	29,225	38,729	34,241
フットサル場	6,371	5,377	5,667	5,250	8,132
スポーツセンター体育館	25,389	14,116	15,564	22,964	25,346
ミーティングルーム	2,602	1,200	1,212	2,693	3,889
会議室等	4,473	2,452	2,317	3,524	4,913
野球場	13,485	8,772	9,862	12,708	12,819
北条体育館	27,344	19,786	17,815	19,294	20,398
武道場	6,200	3,594	3,661	4,897	5,217
合計	121,445	80,740	89,875	117,863	123,787

○施設別の利用者状況5か年推移



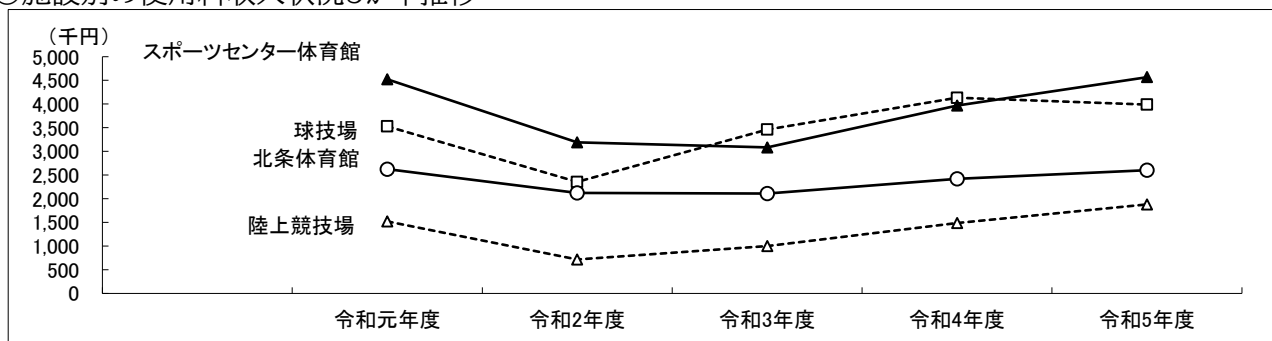
②使用料収入状況

使用料収入状況5か年推移

(円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
陸上競技場	1,520,390	717,270	999,310	1,485,940	1,880,210
球技場	3,526,710	2,355,990	3,461,320	4,133,800	3,987,190
フットサル場	1,247,070	1,069,320	1,082,720	1,022,580	1,510,670
スポーツセンター体育館	4,519,780	3,188,640	3,084,600	3,968,150	4,566,630
ミーティングルーム	339,950	215,090	218,300	381,770	467,750
会議室等	819,480	336,350	507,200	697,760	952,090
野球場	2,134,858	1,427,708	1,538,128	1,668,020	2,111,870
北条体育館	2,625,410	2,119,650	2,109,820	2,423,620	2,605,140
武道場	253,060	172,580	175,750	304,660	349,010
コインロッカー外	14,220	9,500	3,300	29,800	15,280
合計	17,000,928	11,612,098	13,180,448	16,116,100	18,445,840

○施設別の使用料収入状況5か年推移



(1) 令和5年度 評議員会・理事会の開催状況

評議員会

開催年月日	決議の内容		結果
令和5年4月26日	報告第1号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団公印規程の一部改正について	—
	報告第2号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団会計規程の一部改正について	—
	報告第3号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団職員の採用等に関する規程の一部改正について	—
	報告第4号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団個人情報保護規程の一部改正について	—
令和5年6月6日	報告第5号	令和4年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団事業報告について	—
	議案第1号	令和4年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団決算について	承認
令和5年6月28日	議案第2号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団理事の選任について	可決
令和5年8月19日	議案第3号	令和5年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団事業計画書の変更及び収支予算書の補正について	承認
令和5年9月27日	報告第6号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団賛助会員規程の全部改正について	—
令和5年12月28日	議案第4号	令和5年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団収支予算書の補正について	承認
	報告第7号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団給与規程の一部改正について	—
令和6年3月26日	議案第5号	令和6年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団事業計画書及び収支予算書について	承認
	報告第8号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団就業規程の一部改正について	—
	報告第9号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団給与規程の一部改正について	—

令和6年3月26日	報告第10号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団被服貸与規程の一部改正について	—
	報告第11号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団退職手当支給規程の一部改正について	—
	報告第12号	松山市総合コミュニティセンター外5件に係る指定管理について	—
令和6年3月27日	議案第6号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団評議員の選任について	可決
	議案第7号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団理事の選任について	可決

### 理事会

開催年月日	決議の内容		結果
令和5年4月21日	議案第1号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団公印規程の一部改正について	可決
	議案第2号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団会計規程の一部改正について	可決
	議案第3号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団職員の採用等に関する規程の一部改正について	可決
	議案第4号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団個人情報保護規程の全部改正について	可決
令和5年5月18日	議案第5号	令和4年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団事業報告及び決算について	承認
	議案第6号	公益財団法人JKA補助事業の実施について	可決
	議案第7号	令和5年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団定時(第1回)評議員会の招集について	可決
令和5年6月16日	議案第8号	令和5年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団第2回評議員会の招集について	可決
令和5年8月3日	議案第9号	令和5年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団事業計画書の変更及び収支予算書の補正について	承認
	議案第10号	令和5年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団第3回評議員会の招集について	可決



令和5年9月27日	議案第11号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団賛助 会員規程の全部改正について	可決
令和5年12月14日	議案第12号	令和5年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振 興財団収支予算書の補正について	承認
	議案第13号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団給与 規程の一部改正について	可決
	議案第14号	令和5年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振 興財団第4回評議員会の招集について	可決
令和6年1月10日	議案第15号	令和6年度スポーツ振興くじ助成金の交付申請に ついて	可決
令和6年2月21日	議案第16号	令和6年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振 興財団事業計画書及び収支予算書について	承認
	議案第17号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団就業 規程の一部改正について	可決
	議案第18号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団給与 規程の一部改正について	可決
	議案第19号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団被服 貸与規程の一部改正について	可決
	議案第20号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団退職 手当支給規程の一部改正について	可決
	議案第21号	令和5年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振 興財団第5回評議員会の招集について	可決
	報告第1号	松山市総合コミュニティセンター外5件に係る指定 管理について	—
令和6年3月25日	議案第22号	令和5年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振 興財団第6回評議員会の招集について	可決
令和6年3月29日	議案第23号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団常務 理事の選定について	可決
	議案第24号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団事務 局長の任免について	可決

## (2) 評議員・理事・監事に関する事項

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの期間

### 評議員

辞任 鴨川 政史 廣川 豊仁

#### ■評議員名簿

(令和6年3月31日現在)

井上 洋一	大崎 修一	鴨川 政史
下條 信行	高田 智世	中矢 齊
廣川 豊仁	福井 美香	藤田 仁
前田 昌一	松井 隆	渡部 克彦

### 理 事

辞任 片山 雅央 松原 淳也

就任 河崎 元

#### ■理事名簿

(令和6年3月31日現在)

片山 雅央	河崎 元	土居 英雄
開 忠和	本田 元広	松原 剛史

### 監 事

#### ■監事名簿

(令和6年3月31日現在)

大宿 有三	山邊 彰三
-------	-------

## (3) 賛助会員の状況

(令和6年3月31日現在)

会員数	賛助会費
46 団体	520 千円

# 財 務 諸 表



# 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	423,211,486	332,990,885	90,220,601
未収金	2,635,752	1,598,913	1,036,839
前払金	1,185,880	1,330,950	△145,070
貯蔵品	787,469	575,439	212,030
流動資産合計	427,820,587	336,496,187	91,324,400
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	352,830,580	376,653,713	△23,823,133
投資有価証券	1,353,951,192	1,330,128,059	23,823,133
基本財産合計	1,706,781,772	1,706,781,772	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産			
定期預金	347,398,732	405,855,129	△58,456,397
投資有価証券	0	49,855,400	△49,855,400
財団設立15周年記念事業積立	1,000,003	500,000	500,003
特定資産合計	348,398,735	456,210,529	△107,811,794
(3)その他の固定資産			
什器備品			
取得価額	1,771,126	1,496,126	275,000
減価償却累計額	△1,511,398	△1,496,120	△15,278
リース資産			
取得価額	69,291,670	65,191,670	4,100,000
減価償却累計額	△48,445,096	△35,349,816	△13,095,280
その他の固定資産合計	21,106,302	29,841,860	△8,735,558
固定資産合計	2,076,286,809	2,192,834,161	△116,547,352
資 産 合 計	2,504,107,396	2,529,330,348	△25,222,952
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	185,142,412	278,678,644	△93,536,232
前受金	14,000	13,706,300	△13,692,300
預り金	24,981,199	12,035,306	12,945,893
仮受金	236,763,301	181,105,221	55,658,080
リース債務(短期)	9,339,848	13,466,408	△4,126,560
賞与引当金	54,402,280	48,563,752	5,838,528
流動負債合計	510,643,040	547,555,631	△36,912,591
2. 固定負債			
退職給付引当金	574,202,209	547,510,561	26,691,648
リース債務(長期)	13,054,654	18,338,215	△5,283,561
固定負債合計	587,256,863	565,848,776	21,408,087
負 債 合 計	1,097,899,903	1,113,404,407	△15,504,504
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	1,685,000,000	1,685,000,000	0
2. 一般正味財産	△278,792,507	△269,074,059	△9,718,448
正味財産合計	1,406,207,493	1,415,925,941	△9,718,448
負債及び正味財産合計	2,504,107,396	2,529,330,348	△25,222,952

# 正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,005,528	4,025,737	△ 20,209
基本財産受取利息	4,005,528	4,025,737	△ 20,209
特定資産運用益	326,608	341,645	△ 15,037
特定資産受取利息	326,608	341,645	△ 15,037
事業収益	2,016,645,838	1,904,339,708	112,306,130
指定管理料収益	1,927,971,590	1,832,109,936	95,861,654
受託事業収益	49,999,389	46,153,372	3,846,017
参加料等収益	33,148,859	22,853,400	10,295,459
入場料収益	5,526,000	3,223,000	2,303,000
受取会費	3,355,500	3,376,800	△ 21,300
受取会費	3,355,500	3,376,800	△ 21,300
受取補助金等	114,754,170	101,573,481	13,180,689
市補助金	110,016,090	100,881,821	9,134,269
県スポ協補助金	243,880	267,460	△ 23,580
その他補助金	4,494,200	424,200	4,070,000
受取寄付金	359,000	0	359,000
受取寄付金	359,000	0	359,000
雑収益	791,956	1,492,415	△ 700,459
受取利息	8,156	7,094	1,062
その他雑収益	783,800	1,485,321	△ 701,521
経常収益計	2,140,238,600	2,015,149,786	125,088,814
(2) 経常費用			
事業費	2,024,803,271	2,010,618,514	14,184,757
報酬	0	1,518,801	△ 1,518,801
給料	194,534,100	258,780,705	△ 64,246,605
職員手当等	85,592,967	120,399,565	△ 34,806,598
賞与引当金繰入額	46,391,390	48,404,694	△ 2,013,304
退職給付費用	43,745,424	57,912,715	△ 14,167,291
福利厚生費	79,820,462	97,865,804	△ 18,045,342
賃金	299,615,560	265,608,650	34,006,910
報償費	19,912,940	16,999,899	2,913,041
旅費交通費	336,738	642,482	△ 305,744
交際費	15,000	13,889	1,111
消耗品費	58,783,309	48,875,321	9,907,988
燃料費	9,184,068	8,618,170	565,898
食糧費	84,666	23,536	61,130
印刷製本費	7,841,900	7,806,754	35,146
光熱水費	326,417,901	275,128,865	51,289,036
修繕料	27,722,758	22,907,377	4,815,381
通信運搬費	5,296,780	6,231,081	△ 934,301
広告掲載料	770,000	315,700	454,300
検査等手数料	16,626,087	16,515,068	111,019
保険料	6,095,783	5,713,186	382,597
使用料及び賃借料	45,685,931	34,948,975	10,736,956
工事請負費	67,831,115	36,787,355	31,043,760
原材料費	6,412,208	6,318,805	93,403

科 目	当年度	前年度	増 減
備品購入費	6,926,437	4,404,698	2,521,739
租税公課	62,361,648	76,077,539	△ 13,715,891
委託費	579,696,079	566,392,671	13,303,408
支払助成金	12,246,783	9,857,220	2,389,563
リース資産減価償却費	13,095,280	13,038,334	56,946
支払利息	1,744,679	2,510,655	△ 765,976
固定資産減価償却費	15,278	0	15,278
管理費	125,148,777	2,685,322	122,463,455
報酬	1,547,500	12,099	1,535,401
給料	35,826,473	278,220	35,548,253
職員手当等	23,753,513	158,084	23,595,429
賞与引当金繰入額	8,010,890	159,058	7,851,832
退職給付費用	5,777,697	184,592	5,593,105
福利厚生費	18,028,753	125,968	17,902,785
賃金	11,324,308	105,277	11,219,031
報償費	365,200	2,628	362,572
旅費交通費	35,556	0	35,556
交際費	7,000	111	6,889
消耗品費	1,426,288	12,085	1,414,203
印刷製本費	707,300	964	706,336
修繕料	157,300	3,302	153,998
通信運搬費	1,465,942	10,813	1,455,129
検査等手数料	545,856	5,214	540,642
備品購入費	59,950	0	59,950
支払負担金	1,347,405	1,499,314	△ 151,909
租税公課	11,833,602	106,161	11,727,441
委託費	2,928,244	21,432	2,906,812
経常費用計	2,149,952,048	2,013,303,836	136,648,212
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,713,448	1,845,950	△ 11,559,398
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 9,713,448	1,845,950	△ 11,559,398
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
雑損失	5,000		5,000
経常外費用計	5,000	0	5,000
当期経常外増減額	△ 5,000	0	△ 5,000
当期一般正味財産増減額	△ 9,718,448	1,845,950	△ 11,564,398
一般正味財産期首残高	△ 269,074,059	△ 270,920,009	1,845,950
一般正味財産期末残高	△ 278,792,507	△ 269,074,059	△ 9,718,448
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,685,000,000	1,685,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,685,000,000	1,685,000,000	0
III 正味財産期末残高	1,406,207,493	1,415,925,941	△ 9,718,448

**正味財産増減計算内訳表**  
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計					小計	収益事業等会計		法人会計	内部取引 控除	合 計
	公1 文 化 振興事業	公2 スポーツ 振興事業	公3 埋蔵文化財保存 普及啓発事業	共通	小計		収1	公益目的外への 貸与及び駐車場売店			
I 一般正味財産増減の部											
I 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	0	0	0	3,747,973	3,747,973	0	257,555	0	4,005,528		
基本財産受取利息	0	0	0	3,747,973	3,747,973	0	257,555	0	4,005,528		
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	326,608	0	326,608		
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	326,608	0	326,608		
事業収益	333,183,476	1,047,562,878	199,833,606	0	1,580,579,960	275,338,783	160,727,095	0	2,016,645,838		
指定管理料収益	319,603,576	1,017,019,148	155,314,736	0	1,491,937,460	275,307,035	160,727,095	0	1,927,971,590		
受託事業収益	0	5,448,771	44,518,870	0	49,967,641	31,748	0	0	49,999,389		
参加料等収益	8,053,900	25,094,959	0	0	33,148,859	0	0	0	33,148,859		
入場料収益	5,526,000	0	0	0	5,526,000	0	0	0	5,526,000		
受取会費	0	3,355,500	0	0	3,355,500	0	0	0	3,355,500		
受取会費	0	3,355,500	0	0	3,355,500	0	0	0	3,355,500		
受取補助金等	28,686,966	86,067,204	0	0	114,754,170	0	0	0	114,754,170		
市補助金	25,686,966	84,329,124	0	0	110,016,090	0	0	0	110,016,090		
県スポーツ協補助金	0	243,880	0	0	243,880	0	0	0	243,880		
その他補助金	3,000,000	1,494,200	0	0	4,494,200	0	0	0	4,494,200		
受取寄付金	0	359,000	0	0	359,000	0	0	0	359,000		
受取寄付金	0	359,000	0	0	359,000	0	0	0	359,000		
雑収益	15,286	39,511	33,049	0	87,846	14,448	689,662	0	791,956		
受取利息	1,226	4,061	549	0	5,836	958	1,362	0	8,156		
その他雑収入	14,060	35,450	32,500	0	82,010	13,490	688,300	0	783,800		
<b>経常収益計</b>	<b>361,885,728</b>	<b>1,137,384,093</b>	<b>199,866,655</b>	<b>3,747,973</b>	<b>1,702,884,449</b>	<b>275,353,231</b>	<b>162,000,920</b>	<b>0</b>	<b>2,140,238,600</b>		
(2) 経常費用											
事業費	373,992,418	1,162,762,047	212,695,575	0	1,749,450,040	275,353,231	0	0	2,024,803,271		
報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
給料	41,025,272	94,709,046	34,959,600	0	170,693,918	23,840,182	0	0	194,534,100		
職員手当等	18,309,870	45,077,525	12,329,159	0	75,716,554	9,876,413	0	0	85,592,967		
賞与引当金繰入額	9,423,995	20,855,777	10,244,056	0	40,523,738	5,867,652	0	0	46,391,390		
退職給付費用	8,838,529	23,792,453	5,777,697	0	38,408,679	5,336,745	0	0	43,745,424		
福利厚生費	15,931,965	38,121,574	15,811,331	0	69,864,870	9,955,592	0	0	79,820,462		
賃金	52,865,011	140,084,065	61,853,449	0	254,802,525	44,813,035	0	0	299,615,560		



科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計		法人会計	内部取引 控除	合 計
	公 1 文 化 振興事業	公 2 ス ポー ツ 振興事業	公 3 埋 蔵 文 化 財 保 存 普 及 啓 発 事 業	共 通	小 計	収 1	公 益 目 的 外 へ の 貸 与 及 び 駐 車 場 売 店			
報償費	3,013,143	16,776,660	110,000		19,899,803	13,137				19,912,940
旅費交通費	3,596	63,279	269,500		336,375	363				336,738
交際費	10,000	5,000	0		15,000	0				15,000
消耗品費	11,226,431	34,905,051	5,008,201		51,139,683	7,643,626				58,783,309
燃料費	3,061,026	3,811,421	484,792		7,357,239	1,826,829				9,184,068
食糧費	13,200	71,466	0		84,666	0				84,666
印刷製本費	1,684,761	2,094,454	3,758,590		7,537,805	304,095				7,841,900
光熱水費	51,895,282	223,599,738	7,166,261		282,661,281	43,756,620				326,417,901
修繕料	3,262,474	20,796,147	855,998		24,914,619	2,808,139				27,722,758
通信運搬費	991,632	2,752,990	929,310		4,673,932	622,848				5,296,780
広告掲載料	0	770,000	0		770,000	0				770,000
検査等手数料	2,233,910	11,767,510	470,206		14,471,626	2,154,461				16,626,087
保険料	1,075,909	3,872,842	420,502		5,369,253	726,530				6,095,783
使用料及び賃借料	10,200,484	13,373,789	17,561,988		41,136,261	4,549,670				45,685,931
工事請負費	13,153,485	41,895,681	1,623,600		56,672,766	11,158,349				67,831,115
原材料費	115,875	5,505,571	337,964		5,959,410	452,798				6,412,208
備品購入費	1,673,976	4,008,730	0		5,682,706	1,243,731				6,926,437
租税公課	11,710,188	27,976,817	13,230,180		52,917,185	9,444,463				62,361,648
委託費	109,137,568	368,653,070	14,294,324		492,084,962	87,611,117				579,696,079
支払助成金	100,000	12,146,783	0		12,246,783	0				12,246,783
リース資産減価償却費	2,664,638	4,654,492	4,587,656		11,906,786	1,188,494				13,095,280
支払利息	355,010	620,116	611,211		1,586,337	158,342				1,744,679
固定資産減価償却費	15,278	0	0		15,278	0				15,278
管理費								125,148,777	0	125,148,777
報酬								1,547,500		1,547,500
給料								35,826,473		35,826,473
職員手当等								23,753,513		23,753,513
賞与引当金繰入額								8,010,890		8,010,890
退職給付費用								5,777,697		5,777,697
福利厚生費								18,028,753		18,028,753
賃金								11,324,308		11,324,308
報償費								365,200		365,200
旅費交通費								35,556		35,556
交際費								7,000		7,000
消耗品費								1,426,288		1,426,288
印刷製本費								707,300		707,300

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計		内部取引 控除	合 計
	公1 文 化 振興事業	公2 ス ポ ー ツ 振興事業	公3 埋 蔵 文 化 財 保 存 普 及 啓 発 事 業	共 通	小 計	収1 公 益 目 的 外 へ の 貸 与 及 び 駐 車 場 売 店		
修繕料							157,300	157,300
通信運搬費							1,465,942	1,465,942
検査手数料							545,856	545,856
備品購入費							59,950	59,950
支払負担金							1,347,405	1,347,405
租税公課							11,833,602	11,833,602
委託費							2,928,244	2,928,244
<b>経常費用計</b>	373,992,418	1,162,762,047	212,695,575	0	1,749,450,040	275,353,231	125,148,777	2,149,952,048
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 12,106,690	△ 25,377,954	△ 12,828,920	3,747,973	△ 46,565,591	0	36,852,143	△ 9,713,448
基本財産評価損益等					0			0
特定資産評価損益等					0			0
投資有価証券評価損益等					0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 12,106,690	△ 25,377,954	△ 12,828,920	3,747,973	△ 46,565,591	0	36,852,143	△ 9,713,448
2 経常外増減の部								0
(1) 経常外収益								0
経常外収益計					0			0
<b>経常外収益計</b>	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								0
雑損失		4,971						4,971
経常外費用計	0	4,971	0	0	4,971	29		5,000
<b>経常外費用計</b>	0	4,971	0	0	4,971	29	0	5,000
当期経常外増減額	0	△ 4,971	0	0	△ 4,971	△ 29	0	△ 5,000
他会計振替額								0
当期一般正味財産増減額	△ 12,106,690	△ 25,382,925	△ 12,828,920	3,747,973	△ 46,570,562	△ 29	36,852,143	△ 9,718,448
一般正味財産期首残高			6	△ 360,119,943	△ 360,119,937		91,045,878	△ 269,074,059
一般正味財産期末残高	△ 12,106,690	△ 25,382,925	△ 12,828,914	△ 356,371,970	△ 406,690,499	△ 29	127,898,021	△ 278,792,507
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	1,685,000,000	1,685,000,000	0	0	1,685,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	1,685,000,000	1,685,000,000	0	0	1,685,000,000
III 正味財産期末残高	△ 12,106,690	△ 25,382,925	△ 12,828,914	1,328,628,030	1,278,309,501	△ 29	127,898,021	1,406,207,493

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について  
有価証券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却について  
什器備品・・・定額法によっている。  
リース資産・・・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。  
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準について  
賞与引当金・・・支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。  
職員退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理について  
消費税等の会計処理は、税込み方式を採用している。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	376,653,713	268,884,293	292,707,426	352,830,580
投資有価証券	1,330,128,059	202,099,229	178,276,096	1,353,951,192
小 計	1,706,781,772	470,983,522	470,983,522	1,706,781,772
特定資産				
退職給付引当資産				
定期預金	405,855,129	914,452,455	972,908,852	347,398,732
投資有価証券	49,855,400	0	49,855,400	0
財団設立15周年記念事業積立金	500,000	500,003	0	1,000,003
小 計	456,210,529	914,952,458	1,022,764,252	348,398,735
合 計	2,162,992,301	1,385,935,980	1,493,747,774	2,055,180,507

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	352,830,580	(331,048,808)	(21,781,772)	—
投資有価証券	1,353,951,192	(1,353,951,192)	(0)	—
小 計	1,706,781,772	(1,685,000,000)	(21,781,772)	—
特定資産				
退職給付引当資産				
定期預金	347,398,732	(0)	(0)	(347,398,732)
投資有価証券	0	(0)	(0)	(0)
財団設立15周年記念事業積立金	1,000,003	(0)	(1,000,003)	(0)
小 計	348,398,735	(0)	(1,000,003)	(347,398,732)
合 計	2,055,180,507	(1,685,000,000)	(22,781,775)	(347,398,732)

### 4. 担保に供している資産

該当なし

### 5. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	1,771,126	1,511,398	259,728
リ ー ス 資 産	69,291,670	48,445,096	20,846,574
合 計	71,062,796	49,956,494	21,106,302

### 6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

### 7. 保証債務

該当なし

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価格	時価	評価損益
基本財産			
利付国債10年 第337回	112,047,199	112,262,895	215,696
利付国債10年 第337回	51,298,461	51,397,470	99,009
利付国債10年 第337回	117,647,059	117,873,535	226,476
利付国債10年 第337回	59,998,200	60,114,000	115,800
利付国債10年 第341回	59,764,476	59,849,250	84,774
利付国債10年 第341回	50,954,972	51,027,250	72,278
大阪府公債10年 第427回	200,000,000	198,880,000	△ 1,120,000
大阪府公債10年 第433回	99,945,000	99,150,000	△ 795,000
大阪府公債10年 第436回	100,022,325	99,130,000	△ 892,325
北海道公債10年 平成29年第13回	200,147,000	199,020,000	△ 1,127,000
広島県公債10年 平成30年第1回	100,048,500	99,320,000	△ 728,500
利付国債10年 第372回	202,078,000	202,400,000	322,000
合 計	1,353,951,192	1,350,424,400	△ 3,526,792

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
文化・スポーツ振興財団管理運営補助金	松山市	0	92,338,861	92,338,861	0	-
文化・スポーツ振興事業補助金	松山市	0	17,677,229	17,677,229	0	-
愛媛県スポーツ協会補助金	県ス協	0	243,880	243,880	0	-
公益財団法人JKA補助金	JKA	0	4,494,200	4,494,200	0	-
合 計		0	114,754,170	114,754,170	0	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

11. 関連当事者との取引の内容

該当なし

12. リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

公益法人会計システム・起案システム及びパソコン等 (什器備品、ソフトウェア)

グループウェア及びパソコン等 (什器備品、ソフトウェア)

人事給与システム及びパソコン等 (什器備品、ソフトウェア)

電話機リース (什器備品)

13. 重要な後発事象

該当なし

## 附 属 明 細 書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載している。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	547,510,561	49,523,121	22,831,473	0	574,202,209
賞与引当金	48,563,752	54,402,280	48,563,752	0	54,402,280

# 財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金	4,952,135
預金	普通預金	運転資金	418,259,351
	伊予銀行 松山市役所支店	コミュニティセンター管理口座	109,419,511
	愛媛銀行 松山市役所支店	中央公園管理口座	116,951,785
	愛媛銀行 松山市役所支店	野球歴史資料館管理口座	2,094,964
	伊予銀行 松山市役所支店	市民会館管理口座	22,960,493
	伊予銀行 松山市役所支店	埋蔵文化財センター管理口座	18,301,974
	伊予銀行 松山市役所支店	発掘調査事業管理口座	1,064,071
	愛媛銀行 松山市役所支店	野外活動センター管理口座	39,463,560
	愛媛銀行 北条支店	北条スポーツセンター・北条体育館管理口座	9,345,845
	伊予銀行 松山市役所支店	補助金管理口座	25,327,576
	伊予銀行 松山市役所支店	一般管理口座	42,533,865
	伊予銀行 松山市役所支店	預り金口座	21,206,722
	伊予銀行 松山市役所支店	コミュニティセンター使用料口座	5,511,520
	伊予銀行 松山市役所支店	市民会館使用料口座	1,985,830
	伊予銀行 松山市役所支店	中央公園使用料口座	1,772,205
	伊予銀行 松山市役所支店	野外活動センター使用料口座	267,710
	伊予銀行 松山市役所支店	北条スポーツセンター使用料口座	40,080
	愛媛銀行 松山市役所支店	中央公園使用料口座	11,640
未収金		埋蔵文化財発掘調査委託料 外	2,635,752
前払金		事業にかかる普通傷害保険 外	1,185,880
貯蔵品		切手、収入印紙	787,469
流動資産合計			427,820,587
(固定資産)			
基本財産			1,706,781,772
定期預金		公益目的保有財産であり、運用益を公益事業財源として使用している。	352,830,580
	伊予銀行 松山市役所支店		173,981,136
	愛媛銀行 松山市役所支店		178,849,444

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
投資有価証券		公益目的保有財産であり、運用益を公益事業財源として使用している。	1,353,951,192
	利付国債10年 第337回		112,047,199
	利付国債10年 第337回		51,298,461
	利付国債10年 第337回		117,647,059
	利付国債10年 第337回		59,998,200
	利付国債10年 第341回		59,764,476
	利付国債10年 第341回		50,954,972
	第427回大阪府公債		200,000,000
	第433回大阪府公債		99,945,000
	第436回大阪府公債		100,022,325
	平成29年13回北海道公債		200,147,000
	平成30年1回広島県公債		100,048,500
利付国債10年 第372回		202,078,000	
特定資産			348,398,735
退職給付引当資産	定期預金	職員の退職金支払の財源として積み立てている。	347,398,732
	愛媛銀行 松山市役所支店		347,398,732
財団設立15周年記念事業積立金	普通預金	記念事業に使用するための特定費用準備資金として積み立てている。	1,000,003
	愛媛銀行 松山市役所支店		1,000,003
その他の固定資産			21,106,302
什器備品	測量機器等7点	公益目的保有財産であり、埋蔵文化財保存・普及啓発事業等で使用している。	259,728
リース資産	会計システム・グループウェア	公益目的保有財産であり財団全体で使用している。	20,846,574
固定資産合計			2,076,286,809
資産合計			2,504,107,396
(流動負債)			
未払金		公益目的事業に供する光熱水費 外	185,142,412
前受金		公益目的事業に供する参加者負担金 外	14,000
預り金		公益目的事業に供する社会保険料 外	24,981,199
仮受金		公益目的事業に供する施設管理費の未払 外	236,763,301
リース債務	会計システム・グループウェア	公益目的事業に供する資産の債務	9,339,848
賞与引当金	職員に係るもの	職員に対する賞与の支払いに備えたもの	54,402,280
流動負債合計			510,643,040
(固定負債)			
退職給付引当金	職員に係るもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	574,202,209
リース債務	会計システム・グループウェア	公益目的事業に供する資産の債務	13,054,654
固定負債合計			587,256,863
負債合計			1,097,899,903
正味財産			1,406,207,493





# 監查報告書



# 監査報告書

令和 6 年 5 月 8 日

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団

理事長 本田元広 殿

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団

監事 山邊 彰三

押印済

監事 大宿 有三

押印済

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度における理事の職務執行の監査を行い、次のとおり報告する。

## 1 監査の方法及びその内容

- (1) 業務監査については、理事及び使用人から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、計算書類の正確性を検討した。

## 2 監査意見

- (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- (3) 収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める。